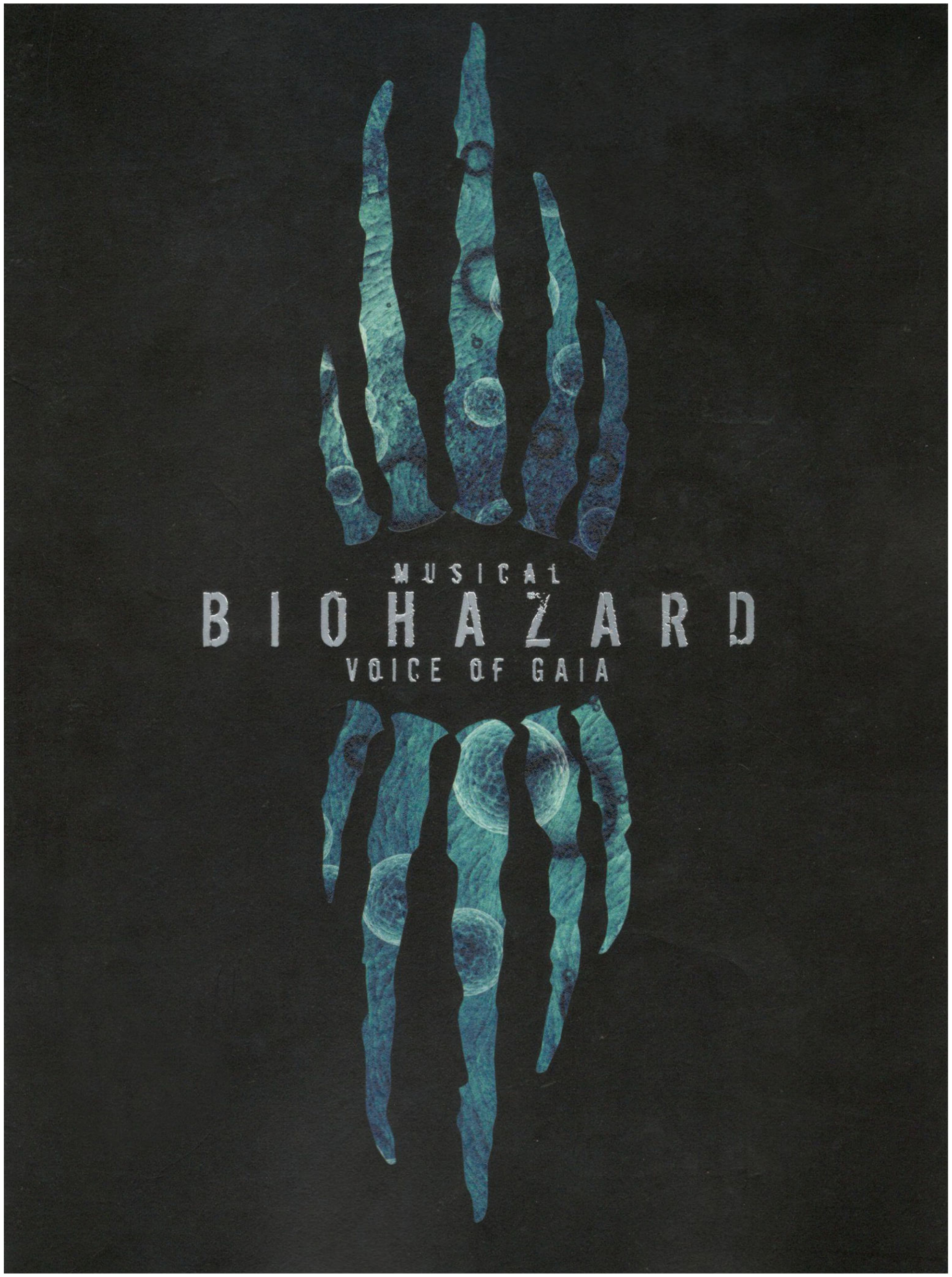
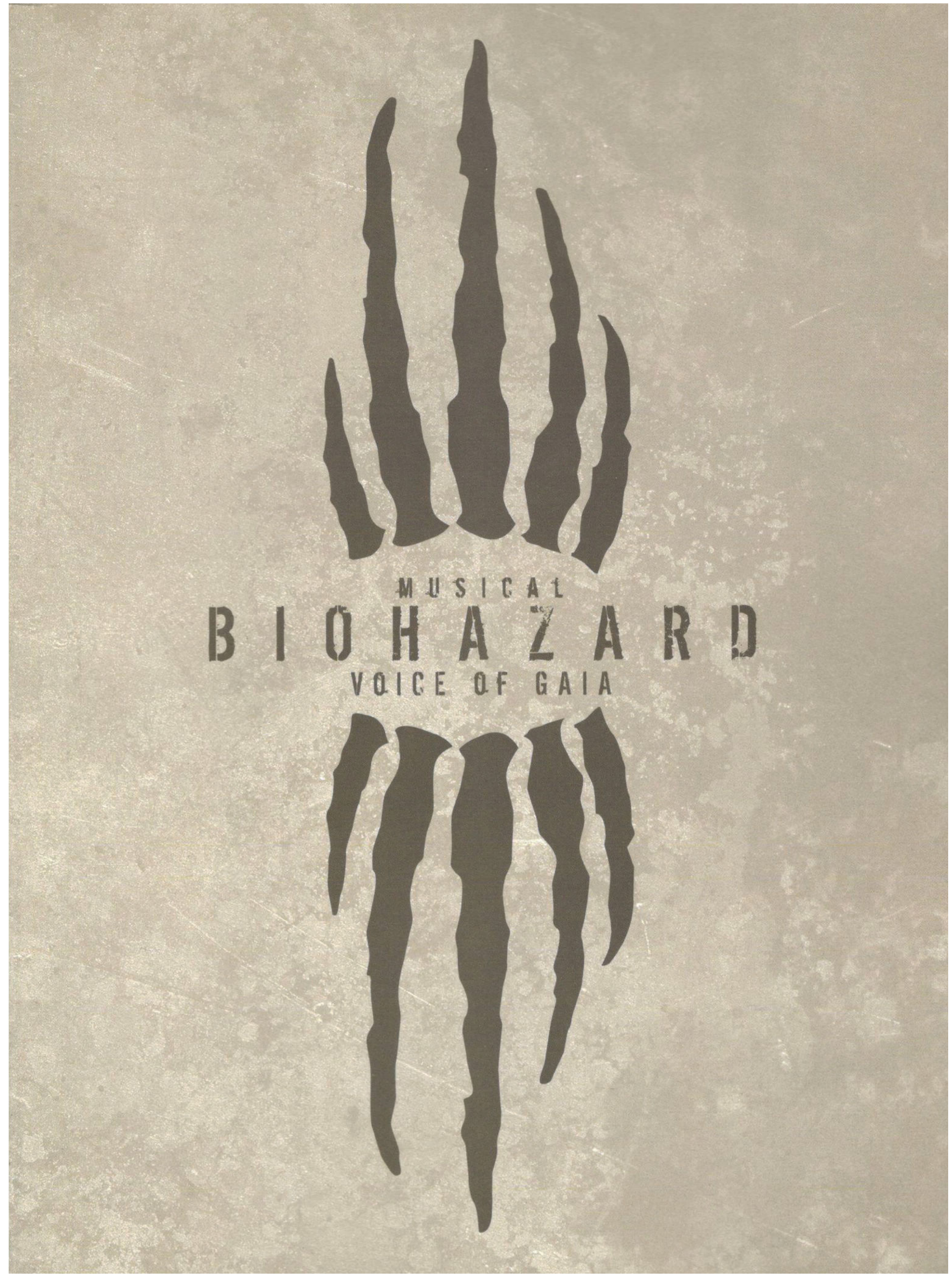

MUSICAL
BIOHAZARD
VOICE OF GAIA


MUSICAL
BIOHAZARD
VOICE OF GAIA



www.residentevillive.ru



ミュージカル
バイオハザード
BIOHAZARD
―ヴォイス・オブ・ガイア―
作・演出＝G2　作曲・音楽監督＝和田俊輔
TOKYO　2016/9/30fri ～ 10/12wed　赤坂ACTシアター
OSAKA　2016/11/11fri ～ 11/16wed　梅田芸術劇場メインホール
原作＝CAPCOM（ゲーム「BIOHAZARD」）
監修＝小林裕幸（CAPCOM）
企画・制作・主催＝梅田芸術劇場



G2



作・演出＝G2

生命と愛を巡る謎を問いかけながら

『ドラクエ』の1にハマり、1週間まるまる仕事をさぼって以来、自分にゲームを禁じている。ホラー映画はあまりにも怖くて、最初の数分間で見るのをやめてしまう。そんな私が『バイオハザード』に関わる？　おかしな現象です。これも昨今の異常気象の影響なのかしら？

冗談はさておき、原作権を持つカプコンさんから「自由に書いて良い」とのお言葉を頂き、オリジナルミュージカルを創るのであれば、と、ついつい引き受けてしまった私。

原作の設定で残っているのは、ウィルスが媒体となってゾンビ化する、という一点。これはもう勉強しなくては、とばかりに、ゾンビ映画を片っ端から見ると同時に、ウィルスの最新事情などを読み漁っていくことになりますが、その読書で知ることになった驚愕の事実！

私が学生の頃に習った生物学といえば、遺伝子が発見され、生物の神秘を分子レベルで解析しようというものでした。

ところが！　ところがです。今や、量子生物学というのが存在するのです。

分子よりも小さい電子、陽子、中性子、さらに細かくなってクオークやら、ニュートリノやらヒッグス粒子やら、電子製品の回路の中か、宇宙空間にしか存在していないイメージの力学理論。それが、生物という、なんともとらえがたいエネルギー複合体が「どうやって生きているか」を説明するために必要になってきている。

渡り鳥がなぜ何百キロという距離を迷わずに飛べるのか、シャケがなぜ自分が産まれた川の上流へと戻れるのか、そんな不思議が量子力学レベルで解明される日がもうすぐ来るらしいのです。逆に言えば、生物たちは、光合成や呼吸という奇跡のエネルギー変換を、量子力学レベルで行っているんですって！　すごいな生物！　自分も生物だけど、量子力学レベルで何かしているつもりは全くありません。

そしてもっと驚くべきことに、そんなミクロの世界に、なにか「意思」のようなものを感じるのです。まるで電子や陽子やらが意思を持って生物を「生かす」ために動いている。ウィルスが体に入ってきたときに撃退する免疫なるシステムは、生物は神が創造したのだ、と信じたくなるほどの奇跡的な働きを見せる。なにこれ、すごすぎる。

この興奮を誰かに伝えたい。

毎年、三万人もの自殺者を出すこの日本で、人間が不死の怪物と化す物語を描きながら、人はなぜ生きようとするのか？ましてや生きるだけではなく、愛を求めるのか。愛なしにはどうして生きられないのか。そんなことも問いかけながら、大きな興奮と感動を届ける舞台にしたい。です。

本編に盛り込めなかった切ない話。

野口英世はアフリカで黄熱病の細菌を発見しようと、日夜、顕微鏡をのぞき続けましたが、それは全くの無駄でした。なぜなら黄熱病は細菌ではなくウィルス。後に開発される電子顕微鏡でしか見ることができません。それを知らずに野口は自らも黄熱病にかかり彼の地で没しました。それを愚行だと誰が決めつけることができるでしょう。

本日はご来場ありがとうございました。

ジーツー●1987年、演劇ユニット「売名行為」で舞台演出家デビュー。91年から02年まで、升毅との劇団「MOTHER」で活動。95年より演劇ユニット「G2プロデュース」を主宰。篠井英介らのユニット「3軒茶屋婦人会」などでも活躍。11年の新作歌舞伎「東雲烏恋真似琴」では大谷竹次郎奨励賞を受賞した。ミュージカルの翻訳・訳詞も手がけるなど、多岐にわたる制作活動を行っている。2013年7月に「G2プロデュース」を解散し、劇作家・演出家に専念。

SYUNSUKE WADA



作曲・音楽監督＝和田俊輔

「この絶望的な世界で愛を歌う」楽曲を

『バイオハザード』が世界初のミュージカル化。

皆様がこの舞台化を知って驚いたのと同じように、僕もこのお話を頂いたときはやはり相当びっくりしてしまった。

どんな音楽をつければ良いのだろうとアレコレ想像しながら臨んだ最初の音楽打ち合わせ。G2さんは目を輝かせながら人とウィルスとゾンビ、そして命のエネルギーについてのお話を何度もしてくださった。

そうか。僕が書くべきコアは、エネルギーの旋律なんだ。

そのとき朧げながらそのことに気付いたと思う。

しかしエネルギーの旋律とは一体。

まさに言うは易し、行うは難し。

書いても書いても上辺だけの綺麗な曲・ただ怖がらせたいだけの曲が出来てしまう。もっと心臓を掴まれるほどの禍々しさを、もっと意識がトリップするほどの美しい曲を！

そんなことを思い詰めながらじわじわと書き進めて行くと、生まれてくる旋律は思いのほか「王道」なものばかり。自分でもここまでとは想像しなかったほどの、普遍的で野太いモチーフの集合体が出来上がってくる。

ゾンビという、未知なる敵に立ち向かう為の命の旋律、エネルギーの旋律とはこういうことだったのか。

「この絶望的な世界で愛を歌う」楽曲とは、きっとこういうことだったんだ（それにしても素晴らしいキャッチコピーだと思う）。

本作は柚希さんをはじめ、出演者の皆様の歌声はもう最初の歌い出しからエネルギーの結晶が見えるようで。こんな素敵な方たちにこの楽曲たちを歌って頂けるなんて、本当に幸せで光栄なことだなと感じています。

どうかこのミュージカルがあの素晴らしい歌声とともに、皆様の心に深く染み渡りますように。

本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。

最後までごゆっくり、この世界に浸って頂ければ幸いです。

わだ・しゅんすけ●舞台音楽を中心にミュージカルや映像作品、アーティストの楽曲等数多くの音楽を手がける。ジャンルや国籍の枠をこえた幅広い世界観と、柔軟な音楽性は、演出家やアーティストから絶大な信頼を寄せられている。自身の音楽ユニット「てらりすと」としても活動。代表作に【舞台】『嵐が丘』（G2 演出）、ハイパープロジェクション演劇『ハイキュー!!』（ウォーリー木下演出）、演劇女子部ミュージカル『LILIUM- リリウム 少女純潔歌劇 -』（末満健一脚本・演出）など多数。

HIROYUKI KOBAYASHI



監修＝小林裕幸（CAPCOM）

新しいエンタテインメントに向かって

本日は御観劇を誠に有難う御座います。

みなさま初めまして『バイオハザード』シリーズプロデューサーの小林裕幸です。この度は柚希礼音さん主演のミュージカルの演目に『バイオハザード』という作品を選んで頂けて大変光栄に思っています。梅田芸術劇場さまよりお話を頂いて、20周年になる『バイオハザード』で新しいエンタテインメントを作る事が出来ると思い、小林もワクワクしています。

脚本・演出に G2 さんが参加して頂けるという事で「どの様な内容がやりたいですか？」とお聞きしたらゲームの世界観や登場人物では描ききれない内容でしたので、好きにやって頂く為にオリジナルの世界観と登場人物で作品を作って頂く事になりました。

ゲーム『バイオハザード』を知らない方が多く劇場に来られると思いましたので、何も知らない方に『バイオハザード』とは「こういうものなんだなあ……」と思って頂ければ幸いです。

柚希礼音さん、G2 さんを中心に素敵な出演者の皆さまに集まって頂きましたので、素敵な芝居と歌などで『ミュージカル バイオハザード～ヴォイス・オブ・ガイア～』を楽しませてくれることは間違いないでしょう！　また多くのスタッフの皆さまと御来場頂けるお客様で作品が完成されると思います。内容的に様々な内容と仕掛けが有りますので２回は是非観劇頂けると嬉しいなあと思います。

『バイオハザード』は様々な展開をしております。12 月 23 日公開の実写映画『バイオハザード　ザ・ファイナル』、そして 2017 年 1 月 26 日発売のゲーム最新作『バイオハザード7』、最後に 2017 年春公開の CG 映画『バイオハザード：ヴェンデッタ』も先の話ですが宜しくお願い致します。

この『ミュージカル バイオハザード～ヴォイス・オブ・ガイア～』を切っ掛けに様々な『バイオハザード』を知って頂けたらと思います。

引き続き応援を宜しくお願い致します。

こばやし・ひろゆき●株式会社カプコンのプロデューサー。1995 年入社。『バイオハザード』等のゲーム開発に携わった後、『バイオハザード』シリーズ、『デビルメイクライ』シリーズ、『戦国 BASARA』シリーズ、『ドラゴンズドグマ』シリーズなど、様々なタイトルのプロデューサーとして活躍。ゲーム以外にも『バイオハザード』シリーズの映画や舞台、『戦国 BASARA』シリーズの漫画、ＴＶ＆劇場アニメ、舞台、実写ドラマなどに参加。

CAST

柚希礼音	リサ・マーチン
横田栄司	ベルナルド・チャベス
渡辺大輔	ダン・ギブソン
平間壮一	ロブロ
海宝直人 村井成仁	ロベルト・レコ（W キャスト）
KYOHEI	マルコ
YOSHIE	Special dancer
中井智彦	副官 他
Raychell	通信員 他
水希友香	Z-dancer 他
有川マコト	ゼルグ
今村洋一	空軍兵 他
東山竜彦	Z-dancer 他
堀部佑介	空軍兵 他
宮垣祐也	特殊部隊 他
森山 純	乗組員 他
安福 毅	夫 他
渡辺崇人	空軍兵 他
扇 けい	ソナー係 他
工藤 彩	Z-dancer 他
後藤祐香	Z-dancer 他
横岡沙季	妻 他
米島史子	Z-dancer 他
佐藤賢一	特殊部隊リーダー 他
田中 領	特殊部隊 他
松本城太郎	特殊部隊 他
中山 孟	特殊部隊 他
渡辺 諒	特殊部隊 他
與名本 睦 草ヶ谷 開	ジルマ・チャベス（W キャスト）
壤 晴彦	ジョー・ナッグス軍医
吉野圭吾	モーリス・グリーン大佐

ORCHESTRA

keyboard／Conductor	田中両崇
Reed	近藤 淳　川崎敦志
Trombone	河野 聡
Drums／Percussion	坂本暁良　坂入康仁
Guitar	江畑コーヘー　庄司陽太
Bass	岩永真奈
Violin	長崎真音　相磯優子

STORY

極寒のアラスカから見つかった、3000 万年前に絶滅した、クジラの祖先にあたるロドケトゥスの死体。そこに含まれていた未知のウィルスは感染した人間を“奴ら”に変え、“奴ら”に噛まれた人間もまた、次々に“奴ら”へと変貌。存亡の危機に直面した人類は、中世に建設された城郭都市のように、“奴ら”の侵入を防ぐことができる、限られた場所だけで細々と生き永らえていた。

そんな場所の一つである、クロアチアのアドリア海を望む地域に位置する城郭都市・ドゥブロブニク。過去の記憶を失ったリサ・マーチン（柚希礼音）は、城郭を出て隣町へ食料調達に出かけた 7 人の仲間の帰りを待っていた。

だが、7 人は待ち伏せしていた“奴ら”から襲撃を受け、命からがらドゥブロブニクに戻れたのは 2 人だけ。しかもその片割れであるマルコ（KYOHEI）は“奴ら”に噛まれていた……。

人々の間に広がる絶望。だが、唯一の生き残りロブロ（平間壮一）は、食料の調達の途中で聞き込んだ、“奴ら”に噛まれても“奴ら”に変わることなく生きている少女が、地中海の小島・リノザ島にいるという情報を告げる。

それを聞いた医師ダン・ギブソン（渡辺大輔）は、少女の体内にある抗体から血清を作ることを提案。イタリア駐留のアヴィアーノアメリカ空軍基地へ向かい、そこから空軍機でリノザ島へ飛んでもらうことを思いつき、ロブロ、空軍オタクのゼルグ（有川マコト）と空軍基地へ向かうことを決意する。

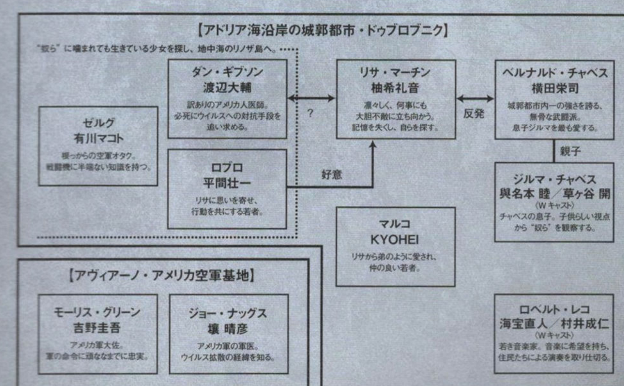
さらに空軍基地へ向かう彼らをサポートするため、出発時には城郭都市を取り囲む“奴ら”の注意を逸らすべく、音楽家ロベルト（海宝直人／村井成仁〈W キャスト〉）を中心に、演奏を行うことになった。

出発当日、町の人々は音楽で“奴ら”を引きつけ、3 人を無事に出発させることに成功する。だが、音楽が止まった瞬間“奴ら”は暴れ出し、城郭の中へ侵入してきてしまう。

リサと武闘派のチャベス（横田栄司）の活躍により、どうにか“奴ら”を退治したものの、チャベスの愛息ジルマが“奴ら”に噛まれてしまった。2 日以内に血清を打たなければ、“奴ら”へと変貌してしまうジルマを救うため、リサとチャベスはジルマを連れてダンたちの後を追う。

だが、空軍基地にたどり着いたリサは、そこでモーリス・グリーン大佐（吉野圭吾）と軍医ジョー・ナッグス（壤晴彦）と出会い、自分の過去を知ることになる……。

果たしてリサたちは血清を手に入れ、世界を破滅から救うことができるのか？



LYRICS （一部抜粋）

「ヴォイス・オブ・ガイア」

後戻りするには手遅れ
どんな道　のこされている？

ヴォイス・オブ・ガイア　聴こえる
ヴォイス・オブ・ガイア　聴こえる
空と大地と海の
声を聴いて

「ジルマ 息子よ」

今までこの腕ひとつで生きて来た
誰の助けも借りずにやってきた

だがそれは間違いだった
ジルマお前に助けられた

ジルマ　俺のすべて
ジルマ愛のかたち
ジルマ今さら知った
俺の生きる証

「それだけで不思議」

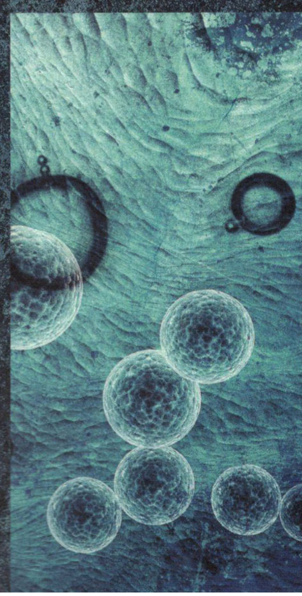
生きていること
それだけで不思議
昇る朝日の光あびれば
なぜかそれだけで体の底から
力が湧いてくる

やりきれない時には
思い出そう　自分は
一人じゃない
さあ今歌おう

不思議な力からだじゅうに湧いてくる
命を動かすエネルギー
それは誰かを愛すること

明日のゆくえ　見失ったら
愛を探そう　誰かのために
とたんに命はきらめき輝く
愛は命のエネルギー

かなしい雨　降るとき
思いだそう
晴れることを
信じて　歌おう





「あの時の二人とくじらの歌」

お願い海の仲間よ　おしえて

なぜ生きていたいの
なぜ命をつむぐの
その答えを探す
それこそが命

「海のすべて」

海が好きな奴は
飛沫をあびながら
波間に浮かぶ星たちを
見つめてる

海が好きな奴は
夕日を道連れに
螺旋描いて海の底
沈んでく

もしも初めての船出なら
風の行方が目的地
雲の羅針盤を遊ばせて
光の先へ
海の見える丘で
波ばかり数えて

もし君が生まれ変わるなら
海の底から始めよう
強い潮の流れ　かき分けて
陸地をめざして


www.residentevillive.ru











interview with

REON YUZUKI

柚希礼音

Q1. 脚本を読んでの印象はいかがですか？

ゲームや映画での『バイオハザード』には戦っているイメージが強かったのですが、私が演じるリサ・マーチンは記憶を失っている期間も長いですし、そういった状態の中で生まれる人々との関係性など、人々とのサブストーリーも緻密に描かれています。ですから人間ドラマとしての厚みがありながら、ミュージカルとしての物語が構成されていると思いますし、ご覧になる方にも、新たな『バイオハザード』として、楽しんでいただけるのではないかと思います。また、さらにリサの物語が続いていくような結末も、とても新鮮でした。

Q2. 今回演じるリサの印象を教えてください。

リサは記憶喪失という背景を持っています。ですから、記憶を失うとはどういうことなのかを、知識として理解するだけでなく、自分の体感として演技に反映できるよう、いろいろ調べながらお稽古に取り組んでいます。調べて知ったのですが、人の性格というものは、それまでの人生経験によってできあがるらしく、記憶を失うと性格もすごく不安定になるそうなんです。でも、本当の根本にある部分は取り繕えず、パッと自然に出てしまう。そこをどう表現するかに難しさを感じています。

Q3. 彼女をどのように演じようと思っていますか？

記憶を失っているからこそ表れてくる、子供と同じ目線で物事を見たり、動物と話をしてみたり……、普通の大人にはない素直さや純粋さという部分も、しっかりと深めていきたいですね。そうしないともう、お稽古で一歩も動けない役ですので。とはいえ、先ほどもお話した通り、自分の体感として演じないと頭でっかちな演技になってしまいます。そのために自分がこれまでに経験してきた感覚を思い出しながら、リサが感じている感覚に近づけるよう、お稽古で試行錯誤しているところです。お稽古の中では少しずつリサの感覚に近づけているような気がしますし、彼女が口にする質問の言葉も、次第にすんなり自分の中に入ってくるようになってきました。

また今回は宝塚歌劇団を退団して、本格的にミュージカルで女性を演じるので、声は高くしたほうがいいのかなど、うわべの部分を考えている自分がいて。宝塚での男役のときも、最終的には声が高かろうが裏返ろうが、役柄としての思いがあればお客様に伝わったことを思い出しました。もちろん稽古のときはテクニックとしていろいろなことに挑戦して練習すべきですが、いざ本番の舞台で表現するときは心でやるんだったと。ですので、まずは一番大切な心を作るところからはじめ、声や動きがそれに伴っていけばと思いながら稽古に励んでいます。

Q4. G2 さんのお人柄、演出の印象を教えてください。

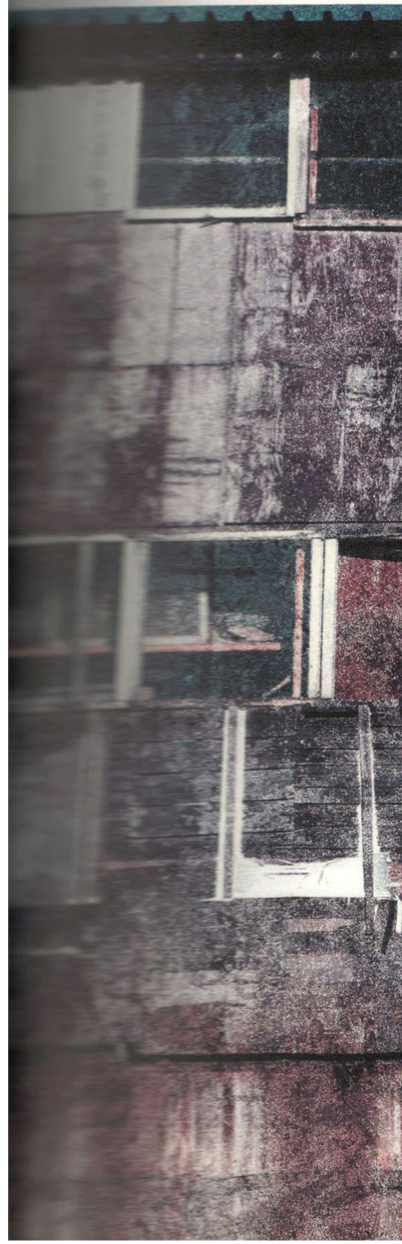
本当に器が大きい方ですね。なにか思ったことがあればなんでもお話しすることができますし、それに対して G2 さんは「こういう意図があるから、こういう演技をしてほしい」としっかり言ってくださる。ご自分の中にも確固たるプランはあるけど、ただそれを押し付けるのではなく、役者 1 人ひとりと真摯に向き合ってくださる。だから本当に一つの作品を一緒に作っている感覚があります。

Q5. この作品の楽曲の印象を教えてください。

作曲の和田さんが、私がこれまで宝塚でやってきたものと全然違う世界観を出してくださいますし、そこからもリサの心情が作れるなど、役作りを助けていただくことも多いです。自分が歌う曲はどれも好きなので、一番好きな曲を選ぶことはできませんが（笑）、他の方が歌う曲を聴いて印象的なのは、チャベス役の横田栄司さんが歌う『ジルマ 息子よ』。歌とは心だなと感じますし、自分もいい声できれいにお聴かせしたいのですが、まずは気持ちが高ぶったから歌になったというその思いを、お客様に伝えられるように歌いたいと思っています。

Q6. 音楽の力を実感した経験を一つ教えてください。

いつもは無音で寝ていますが、初日の幕が開いた後など神経が高ぶったりしたときには、癒やしといいますか、「◯分以内に寝れる音楽」といったものを流しながら寝ています。本当にコテッと寝られるので、音楽の力はすごいと実感しますね（笑）。



Q7. この舞台には多彩な乗り物が登場しますが、今後、乗ってみたいと思う乗り物はありますか？

セグウェイに、南国とかで乗ってみたいです。あとはパラセーリング！　海の上を飛ぶのが気持ちよさそうだから。あと以前、スカイダイビングをしたことがあるのはちょっとした自慢です。恐ろしかったですけど、本当にすごくいい経験をしたと思っています。

Q8. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。

宝塚歌劇団卒業後、初めてミュージカルに出演するので、お客様も「どういうものになるのかな」と思いながらも、楽しみに劇場にいらしてくださることと思います。稽古場の空気も稽古の仕方もメンバーも……初めてづくしで戸惑いながら、とても楽しく新鮮な日々を過ごしていますので、今までにご覧いただいた柚希礼音とまた違う、新しい面白さや魅力をお見せできればと思っています。自分ではない「役」になり、その心情をお客様の前で表現できることを楽しみにして、お稽古してきましたので、ぜひ『ミュージカル バイオハザード～ヴォイス・オブ・ガイア～』をご覧になるお客様に、いろいろなことを感じていただけたらいいな、と思っています。

ゆずき・れおん● 1999 年宝塚歌劇団入団、星組に配属。09 年、星組トップスターとなり『ロミオとジュリエット』、『オーシャンズ 11』などに出演し、14 年には武道館での単独コンサートを実現した。第 30 回松尾芸能新人賞、第 65 回文化庁芸術祭賞演劇部門新人賞、第 37 回菊田一夫演劇賞受賞。15 年に退団し、舞台以外にも活躍の場を広げている。近年の出演作品に【舞台】ミュージカル『プリンス・オブ・ブロードウェイ』などがある。


S.T.A.R.S.
RACCOON
www.residentevillive.ru



EIJI YOKOTA
横田栄司

Q1. 脚本を読んでの印象はいかがですか？
「これ、どうやって舞台でやるんだろう？」と思いました。予算１億ドルの、ハリウッド映画のシナリオみたいだったので（笑）。舞台の制約をひとまずとっぱらって書かれた、G2 さんの気概を感じました。

Q2. 今回演じるチャベスの印象を教えてください。
妻を亡くした子持ちの父親役です。力は強く子煩悩ですが、コミュニティの中では周りと打ち解けない、アウトロー的な存在です。

Q3. 彼をどのように演じようと思っていますか？
社会の中の人間としてあるべき姿と、自分の子供を守ることを優先させてしまう姿の間にある、矛盾の様なものが出せたらなぁと思っています。歌とアクションを含め、必死なおじさんを応援してください（笑）。

Q4. G2 さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
大きくて優しい瞳、柔らかくて穏やかな声。愛や希望、明日や未来といった、やや照れくさいことを嘘なく描ける方だと思います。G2 さんが教祖の宗教があったら、入信しちゃうかもしれません（笑）。

Q5. この作品の楽曲の印象を教えてください。
どれをとっても美味しいベストアルバムですよ。和田さんの曲も G2 さんの歌詞も最高です！　歌の個人練習初日、ちえちゃん（柚希さん）の後だったんですが、『それだけで不思議』を聴いてこっそり涙をぬぐいました。

Q6. 音楽の力を実感した経験を一つ教えてください。
質問の答えとは違うかもしれないけど、カラオケで聞くミュージカル界の人たちの流行歌って、すっごいですよ。その歌を歌っている歌手より上手かったりするし（笑）。ノリノリで自然発生する踊りもめちゃくちゃ面白いです。

Q7. この舞台には多彩な乗り物が登場しますが、今後、乗ってみたいと思う乗り物はありますか？
若い頃から、ずうっとハーレーダビッドソンには憧れ続けています、免許も無いのに。夭逝した学生時代の友達と「いつか乗ろうな」って約束してたんです。

Q8. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
今稽古場では、作品の世界を立ち上げるために、皆で知恵と体力を寄せ合い、一丸となって奮闘しています。この新しい世界を完成させるために、どうか皆様のイマジネーションというエッセンスをお貸しくださいまし。皆様との「共同作業」を楽しみにしております！

よこた・えいじ● 1994 年文学座研究所入所、99 年に座員となる。その後、蜷川幸雄氏に見出されて同氏の演出作品に多数出演。近年の出演作品に【舞台】『ジュリアス・シーザー』、『ハムレット』、『トロイラスとクレシダ』、『ヴェローナの二紳士』【TV】『植物男子ベランダー season3』（NHK BS プレミアム）、『グッドパートナー』（EX）、『重版出来！』（TBS）、大河ドラマ『真田丸』（NHK）などがある。

DAISUKE WATANABE
渡辺大輔

Q1. 脚本を読んでの印象はいかがですか？
オリジナリティ溢れる作品になっていて、読んでいる時点でワクワクしました！　人類を救う為に全員が奮闘する姿はもちろん、楽曲や様々な愛の形は、今までにない新しい『バイオハザード』だと感じました。

Q2. 今回演じるダンの印象を教えてください。
現段階では良い意味で「謎」です。人類を滅亡へと追い込むウィルス実験に関与した人物であり、ウィルスに詳しい教授（医者）でもある。人類を救うべく医者として奮闘するが、果たして善人なのか、悪人なのか…？

Q3. 彼をどのように演じようと思っていますか？
善人なの？　悪人なの？　と、観劇して下さる方々がワクワクして頂けるよう演じるのは勿論のこと、他の登場人物との関係もそうですが、言動の裏にある背景、ダンが抱える過去を大事に演じられればと思っています。

Q4. G2 さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
G2 さん演出作品は初めてなのでどんな方なのだろうとドキドキしましたが、非常に明るくて頭の中を覗いてみたくなるほどワクワク感満載な方です。細部にまで拘って演出されるので、観劇の際は隅々までお見逃しなく！

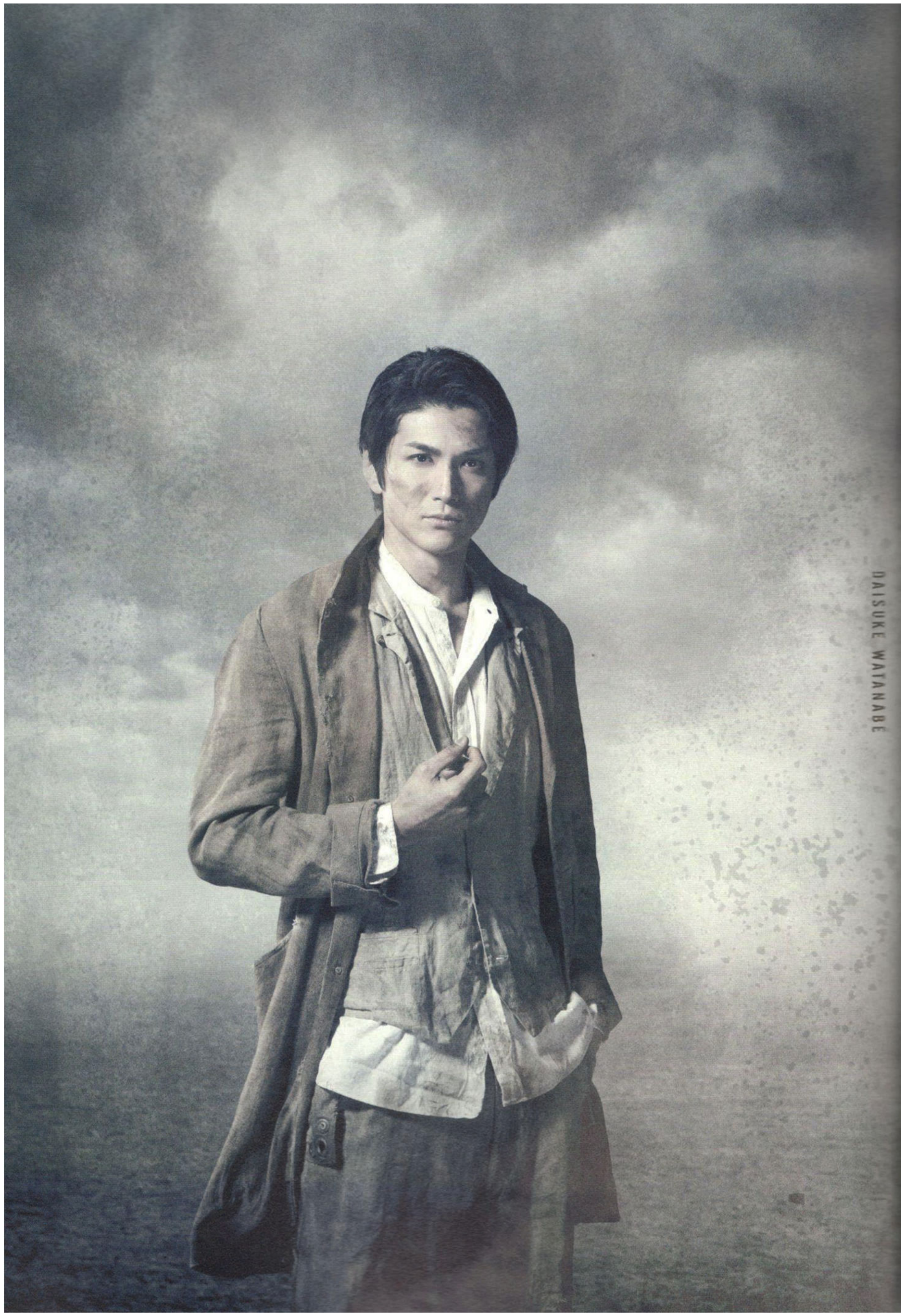
Q5. この作品の楽曲の印象を教えてください。
非常にカッコイイです！　様々なところに作曲した和田さんやカプコンさんの拘りが感じられますし、歌詞も素敵です。個人的にはプロローグの曲に『バイオハザード』の世界観が表れていてゾクゾクします！

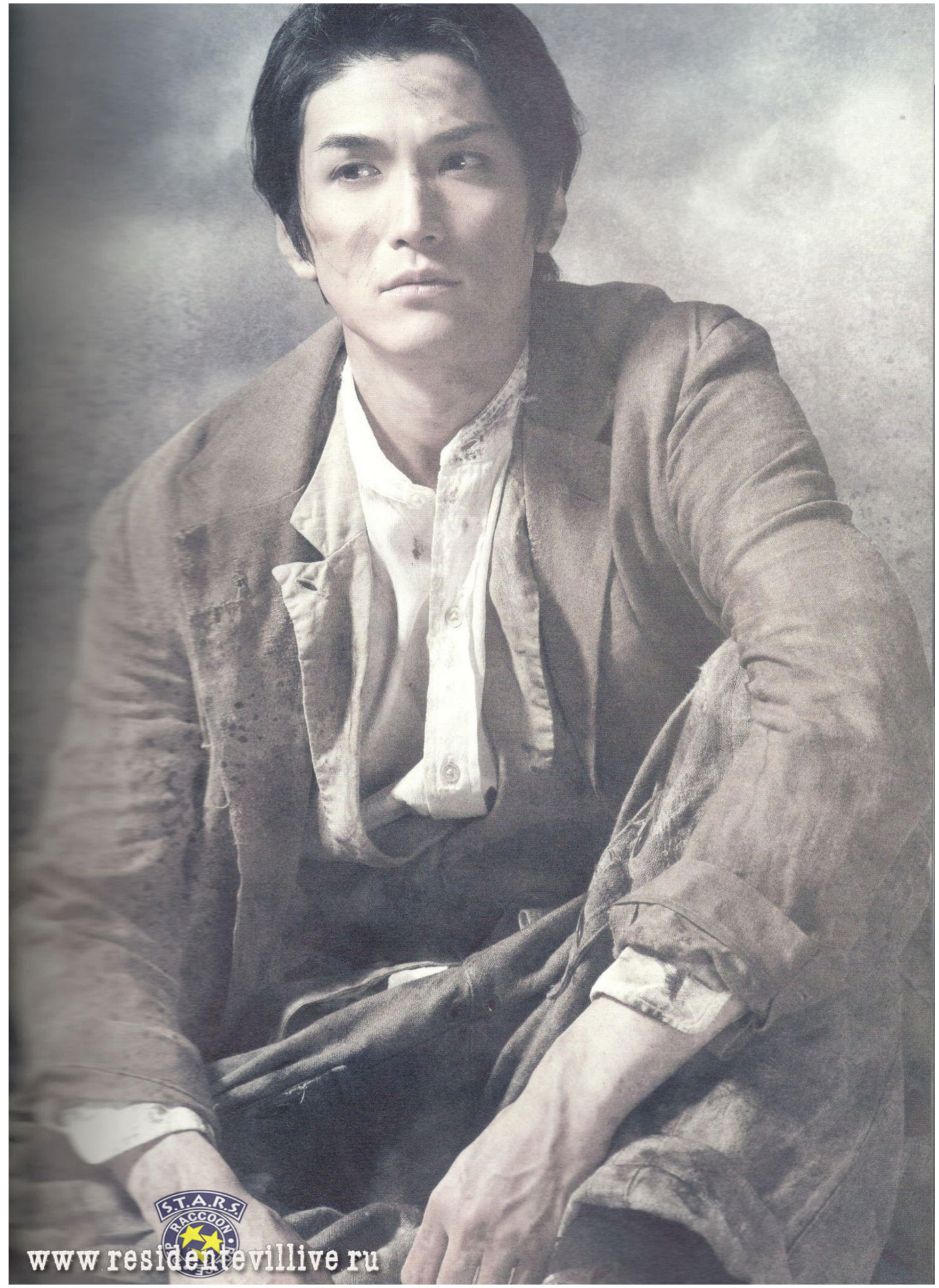
Q6. 音楽の力を実感した経験を一つ教えてください。
学生時代、いつか会いたい！　生でこの声を聴きたい！と強く願った本田美奈子.さん。そんな今でも尊敬する大先輩が所属する事務所に入る事になった時は、美奈子さんの歌声（音楽）が自分を繋いでくれたと感じました。

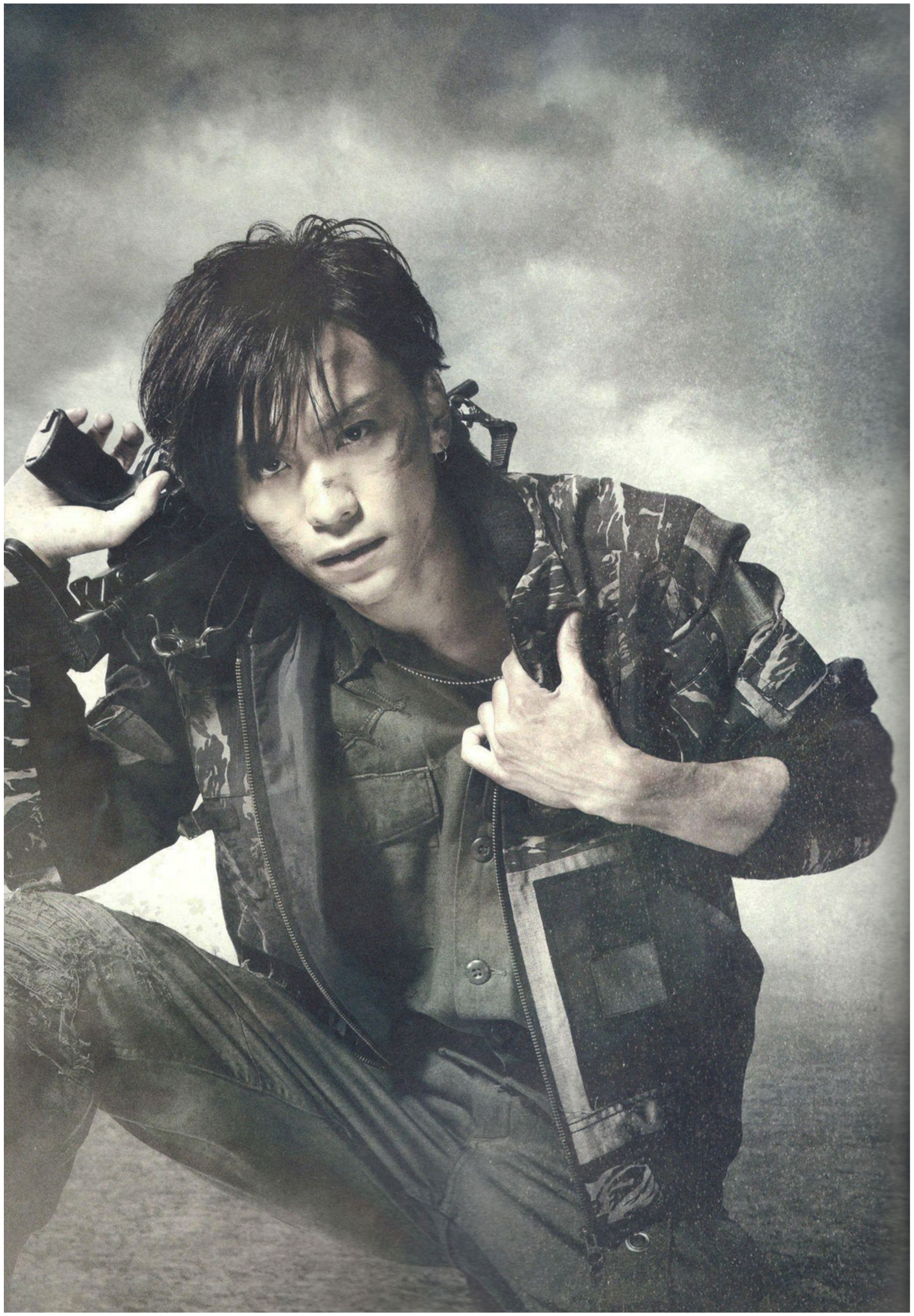
Q7. この舞台には多彩な乗り物が登場しますが、今後、乗ってみたいと思う乗り物はありますか？
やはり乗ってみたいのは艦隊や戦闘機ですね！　男なら一度は乗ってみたいと思うのではないでしょうか？でも、戦闘機の G（重力加速度）に自分が耐えられるかどうか…（笑）。

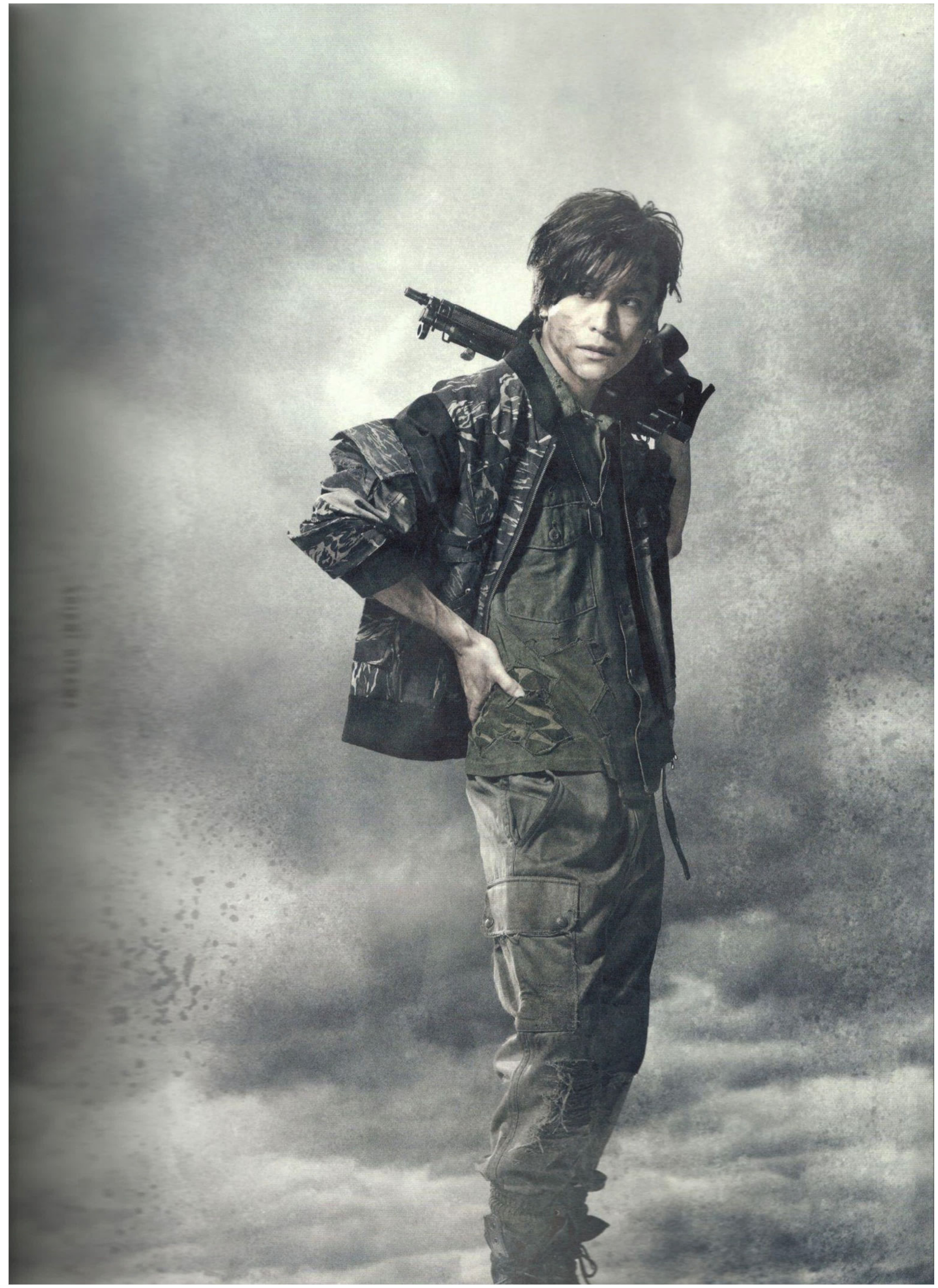
Q8. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
本日はお忙しい中、ご観劇有難う御座います。映画にもない、ゲームにもない、全く新しい『バイオハザード』の世界を！　そして音楽を！　心ゆくまで楽しんで観て頂けたら幸いです！　皆さんとの出逢いに感謝です！

わたなべ・だいすけ● 2006 年、TV『ウルトラマンメビウス』（TBS）で俳優デビュー。現在は舞台の他、『うまいッ！』（NHK）でレポーターを務めるなど、活動は多岐にわたる。近年の出演作品に【舞台】ミュージカル『天翔ける風に』、ミュージカル『ドラキュラ』、『LIVING ADV『STEINS;GATE』』、ミュージカル『ブラッドブラザース』、ミュージカル『南太平洋』、ミュージカル『1789 バスティーユの恋人たち』などがある。


DAISUKE WATANABE


S.T.A.R.S.
RACCOON





SOICHI HIRAMA
平間壮一

Q1. 脚本を読んでの印象はいかがですか？
この台本を、どうやって舞台上で演じていくのだろう。G2さんの頭の中はどうなってるんだろう。稽古の中でどんなふうに演出されるのか、気になるー！　という気持ちになりました！

Q2. 今回演じるロブロの印象を教えてください。
熱い奴／若僧／強くなりたい！／リサ大好き！／マルコ、マルコ、おいマルコ／ダン！　チャベス！　ゼルグ！　ロベルトーー！／あっみんな素敵だ！　という感じです！

Q3. 彼をどのように演じようと思っていますか？
ロブロをどんな風に作っていくかよりも、この世界で何が起きていて、この状況で台本に書かれたセリフを言うためには、どういう感情になっているかを意識しています。自分の親は他の国にいて安否がわからないとか、姉を失っているとか、自分なりにバックグラウンドをつくってみています！

Q4. G2さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
とてもお話が面白くて、きっとG2さん自身が、面白い出来事をいっぱい体験されてこられた方なんだろうなと感じました！　優しくて、こだわりをしっかりお持ちで、でも、一緒に芝居を作ってくださる。そして、頭の中にとんでもない情報量が収められているので、話を聞いているだけで、人生の勉強になります！

Q5. この作品の楽曲の印象を教えてください。
感情の流れが、しっかりと存在している楽曲ばかりだと感じました！　そして、その中でも自分がとくに好きなのは、チャベスが歌う『ジルマ 息子よ』です。

Q6. 音楽の力を実感した経験を一つ教えてください。
ニューヨークでストリートダンサー達と踊った時に、言葉が通じなくても仲良くなる事ができた事です！　一緒に踊る事で感じあうものがあって、音楽があったから仲良くなれたんだな、と思いました。

Q7. この舞台には多彩な乗り物が登場しますが、今後、乗ってみたいと思う乗り物はありますか？
セグウェイ。好きです。あと、スケボーが好きです。

Q8. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
ご来場頂きありがとうございます！　キャスト、スタッフ、関わってる全ての人が、真剣に考えて愛情を注いで作ってきました！　楽しんで頂けるように、精一杯頑張らさせて頂きます！

ひらま・そういち● 2007年、『FROGS』で舞台デビュー。近年はミュージカル『レディ・ベス』、『オーシャンズ11』などの大作に出演。舞台俳優として活動の場を広げている。また15年には1st PHOTO BOOK「#」を発売。来年1月にはミュージカル『ロミオ&ジュリエット』への出演が控えている。近年の出演作品に地球ゴージャスプロデュース公演Vol.14『The Love Bugs』、『ラディアント・ベイビー～キース・ヘリングの生涯～』などがある。

NAOTO KAIHO
海宝直人

Q1. 脚本を読んでの印象はいかがですか？
ドラマあり、スペクタクルありの内容ですが、文字だけ読んでいても、それがどう舞台上に展開するのか想像がつきませんでした。今は、稽古場でそれが少しずつ形になるのを体感する、刺激的な時間を過ごしています。

Q2. 今回演じるロベルトの印象を教えてください。
僕が演じるロベルトは音楽家なのですが、誰よりも「音楽」の持つ可能性を信じ、それを突き詰めている人物です。あまりに「音楽」に熱中しすぎて、周りが見えなくなることもありますが（笑）。

Q3. 彼をどのように演じようと思っていますか？
劇中にロベルトが作曲した楽曲がいくつか歌われるので、作曲家としての説得力や、劇中の音楽を牽引していく力を表現できたらと思っています。今は他の役の方としっかりコミュニケーションをとることを意識し、「相手からの働きかけに、ロベルトならどうリアクションするだろうか？」と、日々考えつつ稽古に臨んでいます。

Q4. G2さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
稽古中は妥協をせず熱く、でも普段は優しくて穏やかな方です。1人ひとりのキャラクターに対して、明確なビジョンを持ちながら、俳優1人ひとりの話にも耳を傾け、その思いを丁寧に汲み取ってくださいます。

Q5. この作品の楽曲の印象を教えてください。
『バイオハザード』の世界観を表現した、妖しげで恐ろしい曲もあれば、明るく希望に溢れた曲もあります。僕が印象的なのは1幕のラストに歌われる『世界へ』です。不安や恐れ、希望など様々な想いが交錯する曲で、歌っていて、とてもエネルギーを感じます。

Q6. 音楽の力を実感した経験を一つ教えてください。
高校時代、合唱祭でクラスが一致団結した時には音楽のパワーを感じました。音楽には人の心を勇気づけ、一つにする力がありますよね。そんな瞬間を、今回の舞台でも実感していただけるんじゃないかと思います。

Q7. この舞台には多彩な乗り物が登場しますが、今後、乗ってみたいと思う乗り物はありますか？
ゼルグと同じく、戦闘機に一度乗ってみたいです！　絶叫系が苦手なので、失神するかもしれませんが（笑）。

Q8. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
誰も見たことのない新しい『バイオハザード』になっていると思います！　日本発のオリジナルミュージカル、ぜひ最後までごゆっくりお楽しみください！

かいほう・なおと● 1996年、劇団四季『美女と野獣』のチップ役でデビュー。99年より『ライオンキング』の初代ヤングシンバ役を3年間にわたり務める。その後も舞台に多数出演するとともに、ロックバンド『CYANOTYPE』のボーカリストを務める。近年の出演作品にミュージカル『レ・ミゼラブル』、劇団四季ミュージカル『アラジン』、『ライオンキング』、ミュージカル『ジャージー・ボーイズ』他多数。次回出演作品は劇団四季ミュージカル『ノートルダムの鐘』。




NAOTO KAIHO


NARUHITO MURAI


S.T.A.R.S.
RACCOON
www.residentevillive.ru

NARUHITO MURAI
村井成仁

Q1. 脚本を読んでの印象はいかがですか?
音楽が持つ力が、全編を通して描かれている印象ですね。ミュージカルにすごくマッチする内容だと感じました。

Q2. 今回演じるロベルトの印象を教えてください。
極限状態に追い込まれた非常時に、舞台や音楽などの芸術を発表することを不謹慎だと感じてしまうこともありますが、実際にはそれがみんなのエネルギーになることがあるのを、先の震災のときに知りました。ロベルトも同じように、みんなを元気づけたい思いと音を出せない現実の間で葛藤しつつ、音楽家としてなにができるかをずっと探し続けている人だと思います。

Q3. 彼をどのように演じようと思っていますか?
彼の研究を理解してくれる人がいないという意味では、孤独だし、他の人たちとはちょっと違うところにいると思うので、そういった部分も表現したいですね。

Q4. G2 さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
初めてお会いしたときはガチガチに緊張していましたが、実際にお会いするととてもお話ししやすくて、ユーモア溢れるフランクな方だと知りました。

Q5. この作品の楽曲の印象を教えてください。
スリリングで緊迫感のある楽曲もあれば、意外性のある楽曲もあるという印象です。僕自身はロベルトが音楽祭で指揮する『それだけで不思議』が、劇中でも数少ない明るい楽曲でアドリア海の香りも感じられて好きです。

Q6. 音楽の力を実感した経験を一つ教えてください。
僕の生まれてからの写真をスライドにして、音楽をつけたものを親が作ってくれたのですが、それを見たときに涙が溢れ出したんです。それは音楽の力だと思いましたし、今はその音楽を聴くだけでちょっとグッと来ます。

Q7. この舞台には多彩な乗り物が登場しますが、今後、乗ってみたいと思う乗り物はありますか?
絶叫系のマシーンが大嫌いで、地に足がついてないと不安になるタイプなんですが、『風の谷のナウシカ』に出てくるメーヴェには乗ってみたいです(笑)。

Q8. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
ゼロから作ったオリジナルミュージカルを楽しみにしていただければ。そして僕は大阪公演に出させていただくのですが、ロベルトは自由度が高い役。それをせっかくWキャストでやらせていただくからには、東京公演とはまた別のロベルトとして生きていきたいと思いますので、ぜひそこも期待していただければと思います。

むらい・なるひと●劇団わらび座に入団。芝居、歌、舞踊、和太鼓、殺陣を学び、ミュージカル『アテルイ』で舞台デビュー。多くのロングラン公演に加え、全国ツアーや海外公演にも参加。2014 年の退団後は、舞台を中心に活躍の場を広げている。近年の出演作品に【舞台】劇団わらび座ミュージカル『ブッダ』、ミュージカル『鶴姫伝説』、ミュージカル『雪のプリンセス』、ミュージカル『LADYBIRD, LADYBIRD』などがある。

KYOHEI
KYOHEI

Q1. 脚本を読んでの印象はいかがですか?
音楽が救いの光になる。台本を通して読んでまず、そのテーマに心揺さぶられました。想像を絶する現実を目の当たりにして生き抜く覚悟を、稽古の中で身体に染みつかせていきたい。そう思いました。

Q2. 今回演じるマルコ、そしてスコットについての印象を教えてください。
リサに弟のように可愛がられ、リサを慕うマルコは、あまりにも短いリミットの中で、運命を受け入れられずに苦しみます。スコットの軍人としての使命感と情熱的な人柄に、変わり果てた世界の中でのリアルを感じます。

Q3. マルコとスコットという二役を、どのように演じようと思っていますか?
マルコとリサは出会ってからの時間はそんなに長くないけど、深く繋がり想い合えた、かけがえのない存在。短いシーンの中でそこを伝えられたら。スコットはその情熱的な人物像を表現したいと思います。

Q4. G2 さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
いつもお話にあっという間に引き込まれますし、かと思えば、突然凄くお茶目なところがあったりされる方。そして、役者それぞれの個性をすごく大切にして下さった演出をなさる方だな、と改めて思いました!

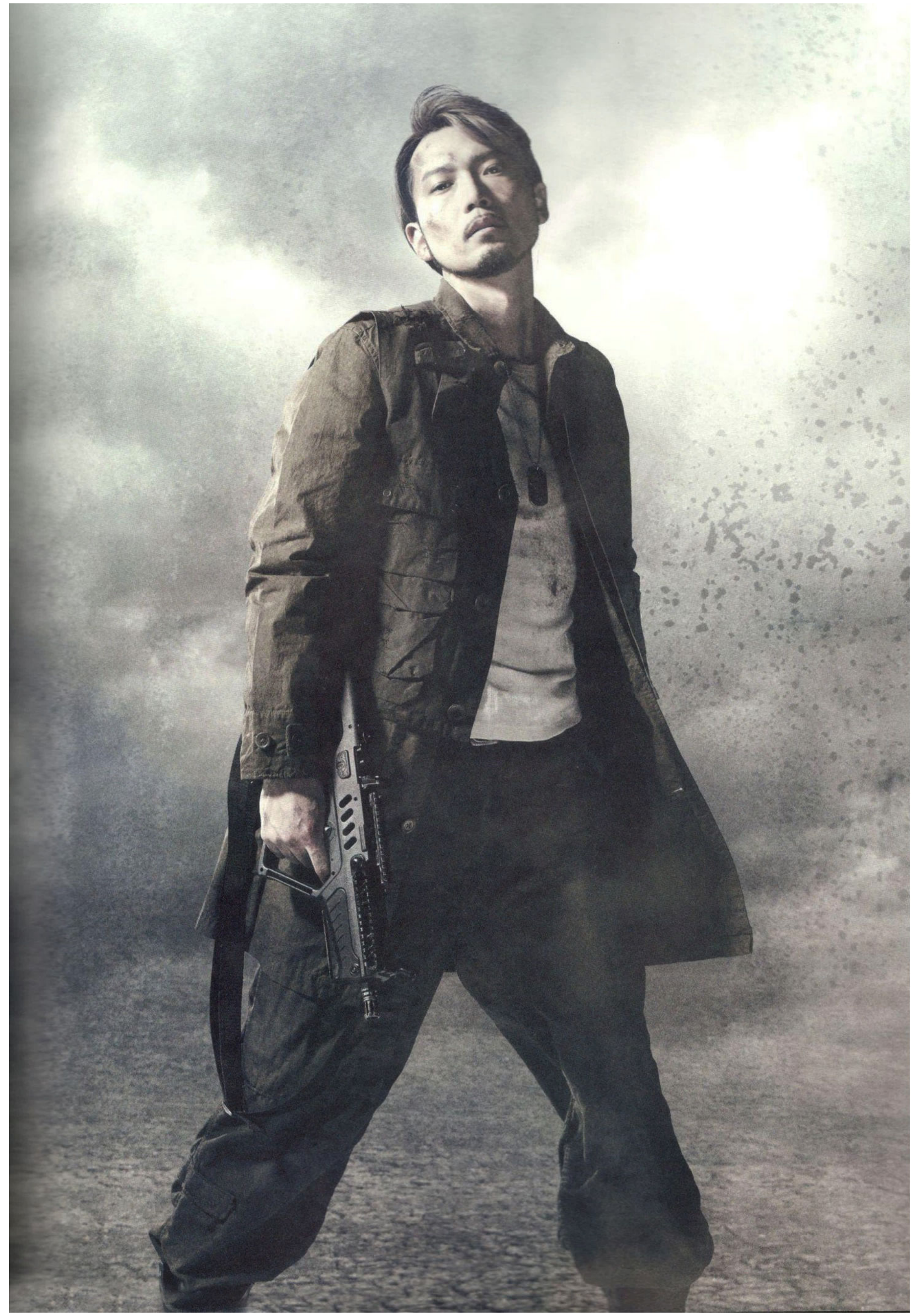
Q5. この作品の楽曲の印象を教えてください。
セリフに呼応するようなメロディ、休符が凄く心地良いなぁと感じますし、感情を吐き出すような歌もありますね。つい口ずさむ曲は、大佐と軍医が「感染源はレベル4だ♪」と歌う『パンデミック・クライシス』です。

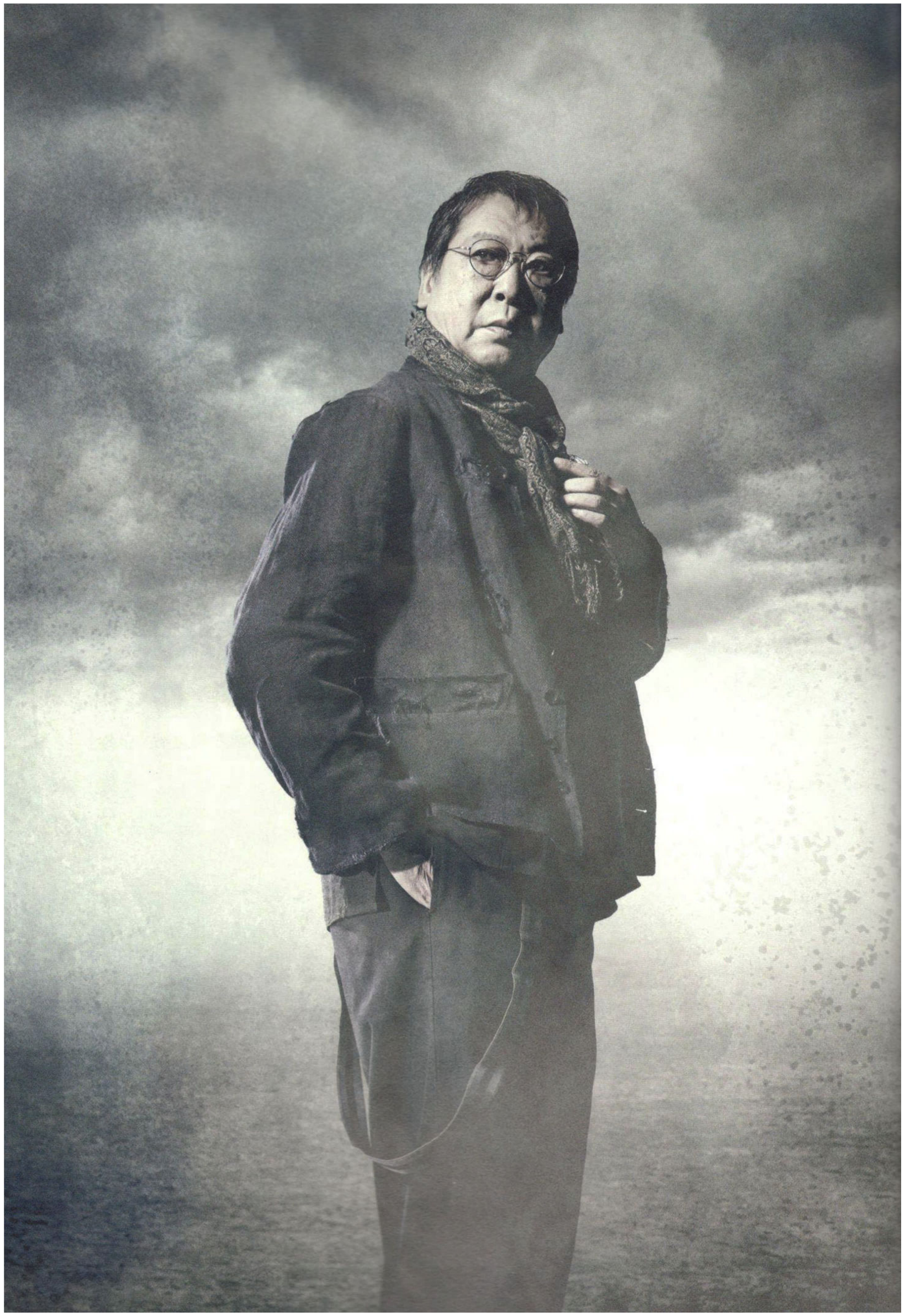
Q6. 音楽の力を実感した経験を一つ教えてください。
自分の音楽観を変えた出来事なのですが、東北の震災後、被災地の避難所や幼稚園、中学高校へ歌を届けに行きました。音楽だから伝えられる、繋がれる、笑顔になれる、思いきり泣けると知りました。音楽に感謝しています。

Q7. この舞台には多彩な乗り物が登場しますが、今後、乗ってみたいと思う乗り物はありますか?
スコットの乗るF22 が、やはり気になりますね! 一生乗れないと思うのでゼルグの気持ちがわかります(笑)。

Q8. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
皆様のイマジネーションで、この世界の混沌と未来はさらに無限に広がっていくのだと思います。切ない愛と折り重なる運命に立ち向かう物語。その中に希望を感じてもらえるよう、精一杯生きたいと思います。

きょうへい● 2003 年に結成された、男性ギターボーカルユニット「Honey L Days」のギター&ボーカリスト。舞台、映画への楽曲提供や音楽監督の他、俳優としても活動を展開している。16 年春より本格的に演劇、ミュージカルのフィールドで再始動した。近年の出演作品に【舞台】『朗読劇 私の頭の中の消しゴム 5th Letter』(13 年 6 月、於:天王洲銀河劇場)などがある。



HARUHIKO IYO



HARUHIKO JYO
壤 晴彦

Q1. 脚本を読んでの印象はいかがですか？
実はどんなホンが来るのかドキドキしていましたが、一読、「これは好きだな！」と思いました。人間の誇り、勇気、情愛が、サスペンスを伴い乍ら時に骨太に、時に繊細なタッチで描かれている「これは好きだな！」です。

Q2. 今回演じるナックス軍医の印象を教えてください。
下馬評では「壌は絶対ゾンビの親玉だ！」と言われていましたが、人間でした。しかも極めて人間的で世界観の大きな軍医。「ザマぁ見ろ！」というところ。

Q3. 彼をどのように演じようと思っていますか？
劇後半部分のガイド的な役処ですので、先ず情報を正確に伝える事が肝要だと思います。また、彼はなぜ呑むのか、何を忘れたいのか…部分的に明かされる記憶の全貌を自分なりに想像し、その痛み・哀しみを握って演じたいと思います。

Q4. G2 さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
まだよく分かりませんが、スケール大きく懐深く、ホットでクールでジェントルで辛抱強い…凄いと思います。本番間近になると人格が激変する演出家が多いので、そうではない事を祈ります。

Q5. この作品の楽曲の印象を教えてください。
優しい、美しい、というのが全体の印象です。不気味な曲、荒々しい曲に至るまで。全ての楽曲の根底に「祈り」があるということでしょうか。魅力的な曲ばかりです。

Q6. 音楽の力を実感した経験を一つ教えてください。
故・蜷川さんの『近代能楽集 卒塔婆小町』。コッペリア第一幕のワルツの中で 99 歳の老婆が 20 歳の美女に変身する。音楽のみならず照明・舞台美術・衣裳…全てのスタッフワークがその一瞬に集約される…戦慄の体験でした。

Q7. この舞台には多彩な乗り物が登場しますが、今後、乗ってみたいと思う乗り物はありますか？
私は高所恐怖症で、ついでにスピード恐怖症ですので、殆どの乗り物が嫌いです。このミュージカルのような恐ろしい世界が終息した時、浜辺に出て、デッキチェアか地上 50 センチメートルくらいのハンモックの上で、くつろぎたいと思います。

Q8. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
全てのスタッフ、全てのキャスト…稽古場に居ると「なんと贅沢な空間」と思います。この中で掛け算に次ぐ掛け算が行われれば、とんでもない作品が出来上がるでしょう。お楽しみに。

じょう・はるひこ●日本朗読文化協会顧問、大阪芸術大学非常勤講師。狂言大蔵流、故茂山千作師に師事。その後、劇団四季を経て、蜷川幸雄演出の『近代能楽集 卒塔婆小町』、『テンペスト』で主演を務める。さらにロイヤル・シェイクスピア・カンパニープロデュースの『ペール・ギュント』に唯一の日本人キャストとして参加。また、演劇倶楽部『座』を設立し、現代版浄瑠璃「詠み芝居」という新ジャンルを確立。声優としても活躍している。

KEIGO YOSHINO
吉野圭吾

Q1. 脚本を読んでの印象はいかがですか？
まず話のスケールが大きくて、展開も早い複雑な構成になっていたので「この壮大な物語を、どうやって舞台で表現するのだろう？」と、興味が湧きましたね。また、ストーリー的な部分では「滅亡の危機に直面した地球が、最終的には自己治癒していく話なのか？」という印象がありました。

Q2. 今回演じるブライアン、そしてモーリスについての印象を教えてください。
1 人目のブライアンは研究者で、この人が 3000 万年前の氷の中からクジラの祖先、ロドケトゥスを掘り返したことから、人類の地獄が始まってしまいます…。2 人目のモーリス・グリーン大佐は、アメリカ海軍の潜水艦ワイオミングの艦長。常に冷静で決断力があり、自分の任務に忠実な軍人。悪党は許さない硬派です！

Q3. ブライアンとモーリスという二役を、どのように演じようと思っていますか？
二役ともに共通する要素だと思うのですが、どちらを演じる際にも、人類を救うという、大きな使命感をもった人物として演じたいと思っています。

Q4. G2 さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
G2 さんは自分の知らない自分を引き出して下さる方です。こうして一緒に稽古をしていると、共に作品を生み出していける仲間、という感覚になることがよくあります。

Q5. この作品の楽曲の印象を教えてください。
スリル、サスペンス、癒し、光、海、風、そして地球を感じます。今回の楽曲の中で、とくに印象的だと感じられた曲は、ダンがスコットにリサへの伝言を託して歌う『あの時の二人とくじらの歌』です。

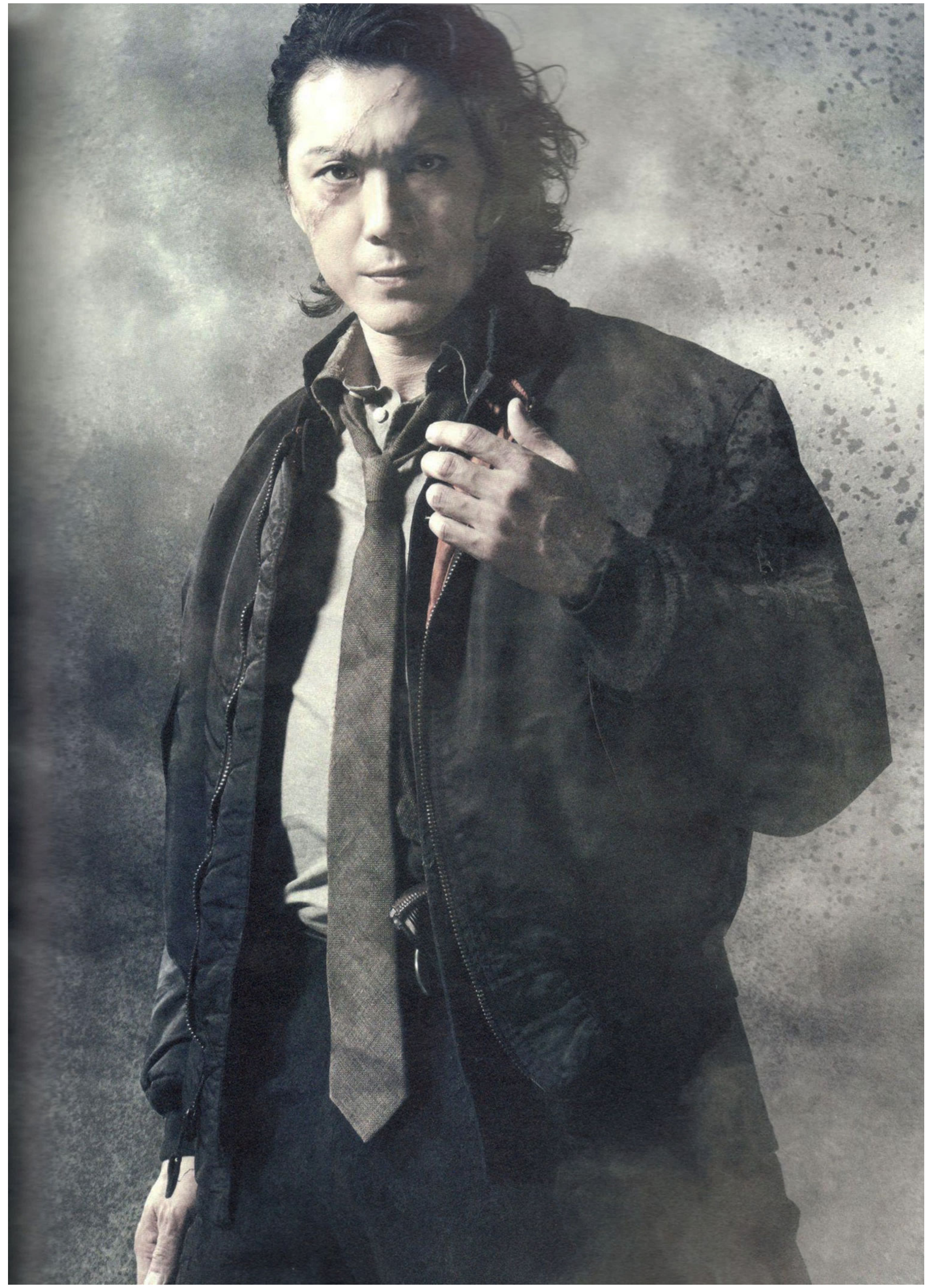
Q6. 音楽の力を実感した経験を一つ教えてください。
『We Are The World』で世界が動いたこと！

Q7. この舞台には多彩な乗り物が登場しますが、今後、乗ってみたいと思う乗り物はありますか？
セグウェイに乗ってみたいです！　そして変わった乗り物に乗った体験を振り返ると、海の中を進む海中スクーターに乗ったことがあります。

Q8. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
地球の息吹を、聴け！

よしの・けいご●関東国際高校演劇科卒業後、劇団四季研究所、音楽座を経て、ミュージカルを中心に舞台で活躍。ショー作品への出演も多い。2008 年に第 34 回菊田一夫演劇賞受賞。近年の出演作品に【舞台】ミュージカル『レディ・ベス』、ミュージカル『モーツァルト！』、『ライムライト』、『ダブリンの鐘つきカビ人間』、ミュージカル『花より男子 THE MUSICAL』、ミュージカル『1789 バスティーユの恋人たち』などがある。


KEIGO YOSHINO





YOSHIE

Be Bop Crew / ebony

Q1. 脚本を読んでの印象はいかがですか？
私が一番好きなのは、音の力が何かを動かし希望の光へ導く可能性を秘めている所。自然も人間も動物も共に生きる。喜びも悲しみも戦って受け入れて。今を生きる自分に沢山のメッセージを感じました。

Q2. 今回、ダンスで表現されるものとは？
稽古中の今、作られて行くシーンを見ながら、自分のゾンビとしてのダンスの表現をどうして行くか、まさに模索中です。生きる屍であるゾンビの不思議な力や奥に潜む悲しみみたいなものを表現したいです。

Q3. ダンスの際に意識されていることは？
自分でコントロール出来ない思考を、体の動きで表現できればと思っています。体の中の虫に踊らされている様な感覚。次を予測できない動きや、恐怖を感じさせる動きをダンスで表現できればと思います。

Q4. G2さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
物腰が柔らかでやさしい笑顔が印象的です。演出になると妥協せず、とても細やかに進められていて、見ていて勉強になります。そして舞台を作り上げる全ての要素に詳しく、本当に頭の回転の速い方だなぁと思います。

Q5. この作品の楽曲の印象を教えてください。
メッセージ性があり壮大だなぁと思います。聴いているだけで心が癒やされたり、悲しくなったり、荒々しく感じたり、いろんな気持ちにさせられます。印象的な楽曲は、その日の自分の心情で毎日変化します。

Q6. 音楽の力を実感した経験を一つ教えてください。
私はダンスバトルに出る事があるのですが、一度も聞いた事ない音楽で即興で踊る時に曲を知っていたの？　と聞かれる事が多いです。音を呼ぶよね、とも言われます。音に寄り添い信頼し合う事で、素敵な感覚で踊れます。

Q7. この舞台には多彩な乗り物が登場しますが、今後、乗ってみたいと思う乗り物はありますか？
乗り物が苦手です。海外に仕事で良く行くのですが、飛行機が本当に怖いです。ジェットコースターも乗れません。高所恐怖症です。唯一乗ってみたいのは、イルカの背中ですね。

Q8. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
出演している皆さんの素晴らしい表現とエネルギーに、自分も負けない様に存在したいと思います。音の力、言葉の力、ダンスの力、人の力で、誰かの心に触れる事ができます様に…、どうぞ楽しんでください。

よしえ●先日行われたLDH主催の新企画のダンスソロバトル「STREET KINGS」にて優勝。初代チャンピオンに輝く。海外ダンスイベントの審査員や講師、ヨーロッパのフィルムアートフェスティバルにダンサーとして招致されるなど日本にとどまらず、世界を舞台に活躍中。★堂本光一シングル『INTERACTIONAL』振付出演。★滝沢歌舞伎 三宅健 MASK ダンス振付。★ KinKi Kids シングル「薔薇と太陽」振付。

TOMOHIKO NAKAI

中井智彦



Q1. 脚本の印象はいかがですか？
今生きている瞬間に起きてもおかしくない現実味を帯びた緊迫感ある物語。初演作品は僕自身初めてですし「G2 さんはこのような世界観で描かれているのか！」とその創造力のすごさに感動してしまったのが第一印象でした。

Q2. G2 さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
完成形を明確にお持ちなので、的確かつ具体的な演出に自分が取り込まれている印象です。細部まで妥協せず、作っては壊しの連続で、ある意味スタッフ泣かせかもしれませんが（笑）、僕には刺激的でとても面白いです！

Q3. 音楽の力を実感した瞬間を教えてください。
ある施設で歌う機会があったのですが、そのとき初老の男性が「荒城の月」を歌ってくれてありがとう、幼い頃の記憶が蘇ったよ」と涙を流しながら、声をかけてくださったとき。人それぞれの想い出の中に、音楽は生き続けているんですね。

Q4. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
G2 さんならではの世界観を、柚希さんの美しく可憐なリサ・マーチンとともに、アクション・ダンス・歌・芝居、どれも見どころ満載の舞台となるよう、スタッフ・キャストみんなで創り上げています。お楽しみに！

なかい・ともひこ●東京藝術大学卒業。卒業演奏時に同声会賞を受賞。2007 年にミュージカル『レ・ミゼラブル』レーグル、司教役にてデビュー。10 年に劇団四季へ入団。『オペラ座の怪人』、『美女と野獣』、『アスペクツ・オブ・ラブ』など、数々の作品で主役・準主役を演じた。15 年の退団以降も、音楽・舞台を中心に表現者としての幅を広げ続けている。今年 7 月にファーストアルバム『私の歌を聴いてくれ』をリリース。出演作品に【コンサート】『中井智彦 Premium Show vol.1』などがある。

RAYCHELL

Raychell



Q1. 脚本の印象はいかがですか？
世界初の『バイオハザード』のミュージカル化ということで、どのようにゾンビを倒していくのか不思議に思い、楽しみにしていました。ゲームや映画でもそうですが、やっぱりミュージカルでも『バイオハザード』に出てくる人物たちは、みんなカッコいいと思いました。

Q2. G2 さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
稽古序盤の頃、眼鏡をかけてなおかつ頭にも「on the 眼鏡」をされていたので、お茶目な方だなと思いました。演出では、ご自身の頭の中にしっかりと描かれたものを伝えてくださるので、裏の裏まで感情や想いが入り込みやすかったです。

Q3. 音楽の力を実感した瞬間を教えてください。
私自身、アーティストとして活動させていただいているのですが、子供の頃から音楽が友達です。つらいときも楽しいときも、すべて共有してきてくれました。音楽があって歌があるから、今の私が存在すると思っています。

Q4. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
パンフレットを手にしてくださったみなさん、ありがとうございます。カンパニーみんなで創り上げた『ミュージカル バイオハザード～ヴォイス・オブ・ガイア～』の世界に思う存分、浸って楽しんでくださいね。

れいちぇる● 2010 年に「Lay」名義でメジャーデビュー。13 年より「Raychell」に改名。今年 1 月 20 日には、ゲーム『バイオハザード 0 HD リマスター』のテーマソング『Until The Justice』を収録したニューコンセプトミニアルバム『0』をリリースした。さらにラジオパーソナリティ、女優としても活動するなど、さらなる飛躍が期待されている。近年の出演作品に【舞台】『BIOHAZARD THE STAGE』などがある。

YUUKA MIZUKI

水希友香



Q1. 脚本の印象はいかがですか？
主人公のリサ役が柚希さんにピッタリだと思いました。そして、この物語を舞台でやったらどうなるんだろう～、とワクワクしました。

Q2. G2 さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
第一印象は物腰柔らかなソフトな方だなぁという印象でした。そして、頭の中にある世界を細かく伝えてくださるのですが、実際に体現しようとすると、一筋縄ではいかない難しさがあります。自分にとって非常にチャレンジングなものになる、と思わせてくれる演出です。

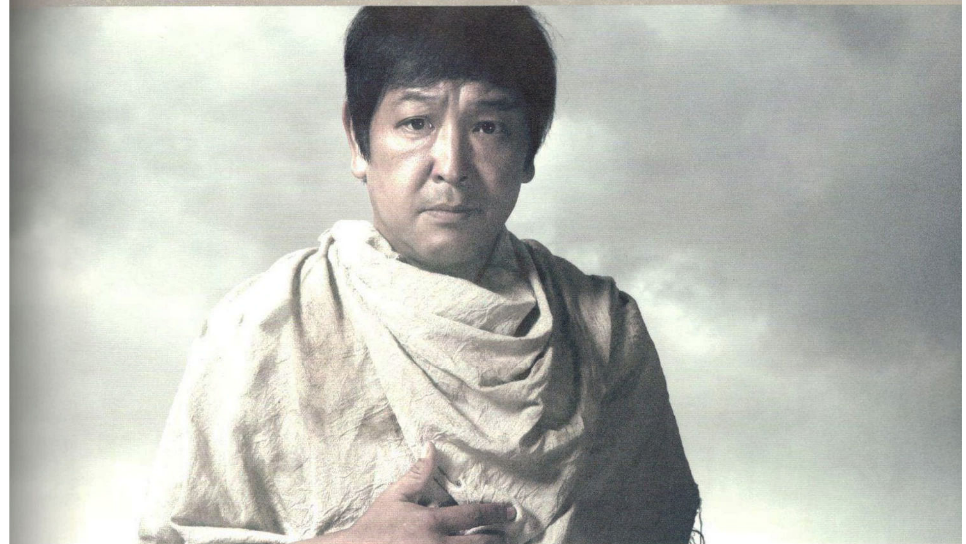
Q3. 音楽の力を実感した瞬間を教えてください。
常に感じています。音楽は感情にストレートに響くので、モチベーションを上げたいときはこの曲、雰囲気に浸りたいときはこの曲、というように使い分けて、音楽の力を借りています。

Q4. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
柚希礼音さんの圧倒的な魅力、そして完全なる異空間に身をゆだね、一緒に物語の中に入り込んでいただけたら最高です。ゲーム、映画とは一味違った『バイオハザード』の世界観をお楽しみください！

みずき・ゆうか●日本大学芸術学部で声楽を学んだのち、イギリス・ロンドンに単身留学。さらにフランスで、ミュージカル『Da Vinci』（パリ・カジノ座）に唯一の日本人キャストとして出演。帰国後は『レ・ミゼラブル』や『ミス・サイゴン』、『死のヴァリエーション』、『ファニーガール』、『ファントム』、『シカゴ』など、ミュージカルを中心に、舞台作品へ多数出演。映画や TV ドラマにも活躍の場を広げている。

MAKOTO ARIKAWA

有川マコト



Q1. 脚本の印象はいかがですか？
これまで自分が体験したゲーム、映画とも違う、まったく新しい『バイオハザード』。「あ！　だから歌うんだ！　だからミュージカルなんだ！」と、思わず声が出てしまいました。その理由は観て確かめていただければ。

Q2. G2 さんのお人柄、演出の印象を教えてください。
ご一緒するのは今年２回目です。緻密で繊細な演出、そしてなにより役者にやさしい！　先日もダイエットに成功して喜ぶ僕を見て「役のイメージと違う、太れ！」とバッサリ。……やっぱり厳しい演出家かも（笑）。

Q3. 音楽の力を実感した瞬間を教えてください。
学生時代、演劇をやっていた僕は全然モテませんでした。くやしいのでバンドをやってみました。ちょっとモテました。あのとき「音楽の力」ってすごいなぁと。……これは違いますか？　間違ってたらごめんなさい。

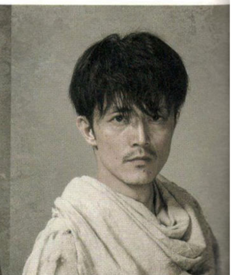
Q4. ご覧になるお客様へ、メッセージをどうぞ。
世界初のミュージカル化！　僕は人生初のミュージカル出演です。「初めて『バイオハザード』という作品に触れる」、「初めて生の舞台を観る」など、いろいろな初めての出会いがあると思います。みなさまにとってこれが、素敵な出会いになりますように。

ありかわ・まこと● 1993 年、劇団「絶対王様」の旗揚げに参加。以降、全公演に出演。さらに外部舞台や映像作品でも幅広く活躍している。近年の出演作品に【舞台】『正しい教室』、『タンゴ・冬の終わりに』、『屋上のペーパームーン』、VAICE ★『いつかの膿』、『メルシー！おもてなし』【映画】『深夜食堂』【TV】『花子とアン』（NHK）、『よろず屋ジョニー』（CS フジテレビ TWO）、『海に降る』（WOWOW）などがある。

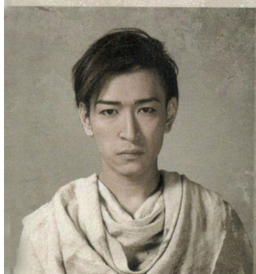
ENSEMBLE



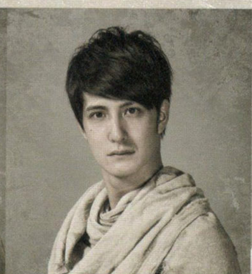
YOICHI IMAMURA
今村洋一



TATSUHIKO HIGASHIYAMA
東山竜彦



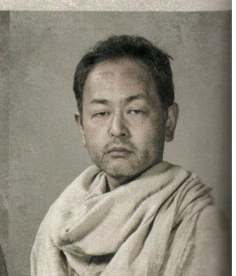
YUSUKE HORIBE
堀部佑介



YUYA MIYAGAKI
宮垣祐也



JUN MORIYAMA
森山 純



TAKESHI YASUFUKU
安福 毅



SHUTO WATANABE
渡辺崇人



KEI OHGI
扇 けい



HIKARI KUDO
工藤 彩



YUKA GOTO
後藤祐香



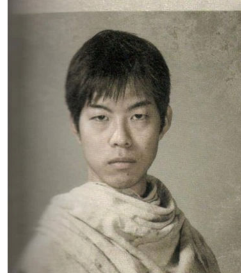
SAKI YOKOOKA
横岡沙季



FUMIKO YONEJIMA
米島史子



KENICHI SATO
佐藤賢一



RYO TANAKA
田中 領



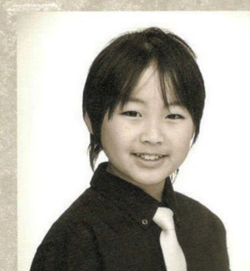
JYOTARO MATSUMOTO
松本城太郎



TAKESHI NAKAYAMA
中山 孟



RYO WATANABE
渡辺 諒



MUTSUKI YONAMOTO
與名本 睦



HARUKI KUSAGAYA
草ヶ谷 開

SPECIAL TALK

対談

G2 × 小林裕幸

王道を行く、直球勝負のミュージカルを目指して

『ミュージカル バイオハザード～ヴォイス・オブ・ガイア～』で脚本・演出を担当するG2と、監修を務める小林裕幸。2人のクリエイターは、新たに生まれつつある、ミュージカルとして表現される『バイオハザード』の世界にどんな思い、期待を抱いているのか？　そして、それぞれが表現を創る際に大事にしている信条について語り合った。

『バイオハザード』＋ミュージカル＝ワクワク感

――それでは最初に、この作品が動き出すまでの経緯から教えていただきたいと思います。

小林　最初に柚希礼音さん主演で『バイオハザート』のミュージカルを、という話を伺ったときは、どんなことになるのか全然、想像もできなかったですね。ただ『バイオハザード』でなにか新しいエンタテインメントを、とはいつも思っていたんです。だからすごくいいお話をいただいたと思いましたし、きっと面白いことになると思って「いいですよ」と即答したのがスタートでした。

G2　僕は最初にこの企画を伺って「『バイオハザード』でミュージカルって、絶対に無理だよ！　考え直したほうがいいんじゃない?」というくらいのことを言っていまして。

小林　（笑）

G2　それでもお話を聞いていくうちに「まったくのオリジナルストーリーでいい」と言われたんです。だったらミュージカルになるかもしれないと考えて、あらすじを提出したところ、原作のテイストというか、設定を意識した部分については……。

小林　「削除してほしい」とお伝えしたんですよね。

G2　ええ。そもそも僕は『バイオハザード』そのものを完璧な形でやる自信はなかったんですが、『バイオハザード』の大きな世界観だけを守り、あとはご自由にやってくださいということなら、ミュージカルになるかもしれないし、面白い話を創ることができるかもしれないと、企画への印象がガラッと変わってのめり込んでいきました。ただ、僕はホラーが苦手なんですよ。映画『バイオハザート』の1作目を観ても、まだなにも起こらないところから「恐い！」って。

小林　最初の研究所くらいのところで、すでに……（笑）。

G2　それでも映画は全部観ました。原作のまんまにならないようにするためにも、観ておかないといけないですから。でも、夜は恐くて観られなくて朝に観ていました（笑）。ただ、自分の中にまったくなかった異ジャンルと、やりたいと思っていた大劇場でのオリジナルミュージカル、この二つが今、自分の中で融合していて、すごく楽しい体験をしている最中です。

小林　『バイオハザード』の世界観は、スタッフみんなで作ったものですが、当然ミュージカルということになれば演出家が好きにやれるほうが、よりよいものができるでしょうし、役者さんも自分のキャラクターを反映させやすいと思ったんです。それで「G2さんは、どういうふうにやりたいですか?」というところから始まって、原作との辻褄合わせに労力を割くのではなく『バイオハザート』の大きな世界観だけを守っていただき、あとは完全にオリジナルにしましょうという形になりました。だから、僕としては逆に楽しみなんです。ここから稽古が始まって役者さんが演じることで、実際にどういう『バイオハザード』のミュージカルができるのか。台本には当然ドラマがあるんですけど、さらに謎解きの要素があるんです。謎解きの要素はゲームにもあるものですし、一度観てすべてを知ってから観直すと、また違うものが見えてくる台本だと思ったので、ぜひ2回は観てほしいと、取材のときは常に言っています（笑）。

――G2さんとしては謎解き要素など、作品を構成する要素という点で、原作を意識された部分はあったのでしょうか？

G2　謎解き要素を盛り込んだのは原作を意識してというよりも、『バイオハザード』は別のメディアで、エンタテインメントの王道をやってこられているタイトルですからね。それを変にマニアックな方向に引っ張っていくとお客さんもがっかりするだろうと思うので、とにかく王道のセンターを行こうと思っています。センターを行くためにはいろいろな仕掛けが必要になるし、ストーリーも強力でないといけない。あとはミュージカルとして王道を行くため、どうやったら出演者が歌を歌えるかは考えましたね。

小林　確かに歌に持っていくのは大変そうですね。

G2　殺陣にはいくらでも持っていけるんですけど（笑）。できるだけ殺陣を抑えめにして、歌を歌うことでセンターを行きたい。そう思って書いたらこうなったという感じでしょうか。

小林　最初は、G2さんも『バイオハザード』でミュージカルは無理だとおっしゃったり、僕もどうなるのか想像がつかなかったわけですよね。でも、この企画を情報公開したときに、お客さんの間に「どうなるんだろう?」と、反応に「?」がついたのが、僕は逆に話題になっていいなと思ったんです。普通なら相まみえないホラーの『バイオハザード』と、ミュージカルがどう融合するのかというところにワクワク感が生まれました。この食べものと、この食べものを組み合わせたらめちゃくちゃおいしくなった、みたいなことになるんじゃないかと期待しているんですが。

G2　食い合わせが悪くならないように気をつけないといけないですね（笑）。

小林　お腹を壊すようなことにはならないよう、お願いしますね（笑）。

浮かび上がってきた「人間とはなにか」という問い

小林　ちょっと作品の中身の話をすると、リサというキャラクターは完全に柚希さんですよね？（笑）。最初から台本について打ち合わせをさせていただいていましたが、その過程でリサにどんどん柚希さんが反映されていくのを感じていて。かっこいいところもありながら可愛らしい感じが、柚希さんだからどう演じるのかがイメージできたというか。実際にどうなるのかは、稽古がこれからなので楽しみですけど。

G2　演じる役者が決まっていると、そこのイメージを利用したほうが楽……と言ったら本当に申し訳ないですけど（笑）。頑張って柚希さん用に書いたというより、柚希さんがもともと持っているキャラクターを踏まえて、リサという役を設計したというほうが近いですね。

小林　チャベスとダンに関して言うと、ある程度台本ができてきた段階で、キャスティングが横田（栄司）さんと渡辺（大輔）さんに決まったんですが、最初は2人とも僕のイメージとはちょっと違ったんですよ。でも、実際に記者発表のときに横田さんとお会いしたら、チャベスには物語の前半でちょっと嫌な感じに見えるところがあるんですけど、そこを横田さんの個性でいい味を出しながらやってもらえるなと思ったんです。また、渡辺さんのことは別の作品で知っていたんですが、台本を読むだけだとちょっとお硬いイメージだったダンが、渡辺さん特有の柔らかさが加わることで、また違うイメージが生まれてくるのを感じました。こういう役者さんが演じることでキャラクターの魅力が高まっていく感じが楽しいですね。

――キャラクターに役者の持ち味が反映していくのを生で観られるのは、舞台ならではですね。

G2　僕は何本か映像作品の脚本を書いたこともあるんですが、プロデューサーに「芝居ならそれでいいんでしょうけど」とよく言われるんです（笑）。ステージの上で役者がどの位置に立って、お客さんとの関係はどうなっているのかとか、演劇としての演出を考えながら書いているので。稽古場で実際にやってみてわかることもあるから、そこでもう一回組み直しはするんですけど。

小林　ゲームはCGで世界を表現しますけど、人の動きはモーション・キャプチャーで役者さんにやってもらうんです。『バイオハザード』は非日常の世界なので、それをどういう演技で表現してもらうかを考えますし、ガン・アドバイザーを入れて銃の持ち方のリアリティを与えたりするなど、キャラクターを作り込むということはいつもやっています。だから人が演技

をすることへの違和感はとくにないんです。ただ、お客さんがいることで演じる役者さんも変わっていく、舞台独自の面白さはあると思うんですね。さらに今回はミュージカルということで、歌がドラマに入って相乗効果を生み出す瞬間が観られるのを楽しみにしています。

G2　本当に世界的にヒットするようなスケール感のあるミュージカルにしたいので、今まさに作曲の和田（俊輔）くんに最終の音楽を作ってもらっていますが、なかなか面白いものになりそうですよ。

小林　和田さんも苦労されているんじゃないですか？　「『バイオハザード』をミュージカルにするって、どうなるんだろう」と（笑）。

G2　たぶん、演劇界で音楽に対するダメ出しが一番きついのは僕じゃないでしょうか。「このフレーズが気になるんだよな」とか、細かい注文をするので大変なんですけど、和田くんはニコニコしながら徹夜でやってくれています（笑）。

小林　以前から「いい曲を書かれる方だな」と思っていたので、今回の音楽が和田さんに決まってすごく安心感があります。

G2　あと、突拍子もない話になるかもしれませんが、この台本を書くにあたって、ウィルスや分子生物学についての本を読み込んだんです。そうするとだんだん僕の中で「人間とはなにか」という問いが浮かび上がってきて。水が高いところから低いところへと流れていくように、世界は淡々と回っていくのだけど、人間と愛だけは淡々とは進んで行かない。激しくうねったりぶれたり歪んだり……妙なエネルギーの使い方をするんですよね。人間ごときがなぜそんなに自然の法則に反するようなエネルギーの使い方をするのかが気になって。この作品ではそこを歌にしたいんです。だから柚希さんに「私、なんか似たようなことばかり歌ってません?」と言われましたけど。

小林　（笑）。それはやっぱり主役ですからね。しょうがないですよね。

G2　でもちょっと歌詞を書き換えたかな。目先を変えるために（笑）。

小林　（笑）

受け手の想像力を喚起して成立する表現、という共通点

G2　最近は本当に舞台でも映像を使って、現実にはあり得ないようなものを見せていく作品がどんどん出てきていますよね。それこそリオ・オリンピックの閉会式とか。時代はそういうふうなところにきていますけど、演劇の原点はやっぱり観客の想像力を喚起して、楽しんでもらうことだと思うんです。だから僕はあえて“奴ら”をそのまま登場させるのではなく、“奴ら”がこの塀の外にいると想像力を働かせてもらえるような演出を意識はしています。

小林　それはゲームも同じですね。今の CG は進化していますが、とくに昔は簡素な絵をどう本物っぽく見せて、想像してもらうかを考えましたから。G2 さんがおっしゃる通り、お客さんに納得して想像してもらうためには、作品の中にある程度、お膳立てがないといけないと思う。やっぱりエンタテインメントはお客さんありきだと思うから。僕はお客さんを無視するのは芸術家だと思うんですよ。「作品を作ったので、あとは好きな人が観てください」みたいな感じになっちゃう気がする。

G2　小林さんがおっしゃる通り、「お客さんがいなくてもいい」と「お客さんがいたほうがいい」という点から芸術とエンタテインメントに分けられる面もありますが、じゃあ、逆に二つの共通項はなにかというと、人の心を揺さぶるということだと思うんです。そして人の心を揺さぶるには、どこかで見たようなことを繰り返してもダメなんですよ。といっても「見たことがない」というだけで終わるのもダメで。見たことのないものを見る経験と、感動して心を揺さぶられる経験という、二つの要素が共存、共振できるかどうか。今までに見たことがないものを見て感動できたら、最高じゃないですか。僕はそれを日夜探しています。どうしてもエンタテインメントの現場には、時間やお金の制約もあるから、野球にたとえるならピッチャーと勝負してホームランを打つより、バントでうまく出塁するほうが省エネだったりもする。でも、やっぱりどこかで場外ホームランを目指すような、王道を行くスイングがしたくなるというか……。

小林　やっぱり王道は大事ですよ。みんなが好きなのはやっぱり真ん中だし、それが嫌で避ける方向に行くパターンもありますけど、王道を避けると細かな好みでの勝負になるから、それを求めている人がいないと、本当に空振りするんですよね。

――では、最後にこの作品への期待を小林さんにお話しいただき、シメとさせていただければ。

小林　稽古開始直前なので、どういう作品になるかは見られてはいないんですけど、G2 さんとやり取りをさせていただく中で面白い台本ができたと思います。だから僕は早く完成版が観たいですね。このパンフレットをお読みになっている方は、まさに今から劇場で観ようとされているか、あるいは観終わった方だと思うので、ちょっとうらやましいですね（笑）。そして、この対談で話したことがどこまで、どうなっているのか今はわかりませんが……。

G2　（爆笑）

小林　一観客として楽しみですし、みなさんと劇場で楽しみたいと思います。

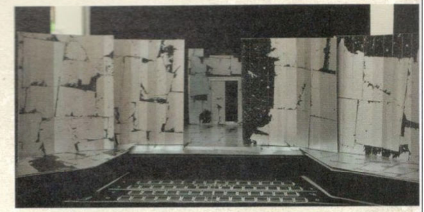
G2　ペテン師にならないように頑張ります（笑）。もしダメだとなったとしても、豪快な三振で決めたいですね。当たったらホームランだったと思われるような。……いやダメだ、そんなんじゃ！　すみません、やっぱりホームラン打ちます！

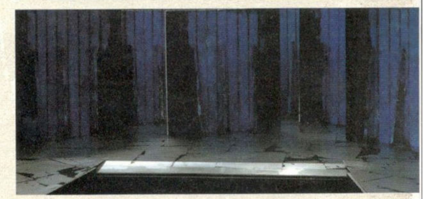
小林　はい。期待しています（笑）。

■

クリエイティブスタッフ・インタビュー

世界初演を迎える『ミュージカル バイオハザード～ヴォイス・オブ・ガイア～』。
そのクリエイションはどのようにして生まれたのか？
クリエイティブスタッフの中から美術、振付、アクションコーディネート、衣裳に携わる
4 人のスタッフに、それぞれのクリエイションについて聞く。





美術　堀尾幸男

**壁が台詞を言うような、
瞬間が生まれるように**

ミュージカルは曲があるので展開が早いんですよね。だから曲のリズムに乗りながら動かすには、小さいセットのほうが扱いやすいんでしょうけど、上演する劇場が赤坂ACTシアターと梅田芸術劇場という大きな空間を持つ劇場だったので、やはり大きいほうがいいよねということで、高い壁のセットにしました。大きなものが変化していく様子を見せたいと思ったし、音楽に合わせてこの壁が動いていくことで、壁が台詞を言うような瞬間が生まれればと思っています。存在感のあるものが変化していくと空間が締まるし、ミュージカルは場面転換に切れ目がないので、場面の進行とセットの動きのズレを利用することで――、計算するのは大変だけど、楽しいものになると思う。また、城壁の中にある町並みをバラックのような作りにすることで、近未来の時代と荒廃した文明の差を広げて表現しています。

振付　前田清実

**知恵を絞ることとシンプルさ、
両面からのアプローチ**

振付という仕事は、セットの動きなどのステージングを含め、舞台に立つ人たちのミザンセーヌ――、シーンにふさわしい立ち位置を決めていく仕事です。これまでにも大きなセットを動かしてきましたが、今回ほど大きなセットを動かすのは初めてなので難しいですが、面白いです。これは相当、知恵を絞らないとダメだなと思う反面、シンプルに考えたほうがいいのかな、と思うところもあり、その両面から考えるようにしています。演出の G2 さんとはイメージが共有できていますし、仮にそこに距離が生まれたとしても、常にミーティングで確認し合えるので安心ですね。小さなことでも伝えれば意見を反映させてくださるから、みんなで作っている感じがあります。今の稽古では「俳優はこう動きたがっている、そして、演出家はこう動かしたいと思っている」と全体を俯瞰しながら折衷案を探っている段階なので、これからの稽古が進んでいくにつれて、さらに自分の見方を振付の中に反映していくことになると思います。

アクション　諸鍛冶裕太

**腑に落ちる、
ということを大切に意識しながら**

アクションコーディネーターとは、ジャンルや作品によって範囲が変わることもありますが、大きく言えば、キャストに身体を使ったアクション表現を、演出家や演者の意向の汲み取りながら作っていく仕事です。今回の作品で言えば、リサと彼女の周りにいる男たち、そして“奴ら”と呼ばれる存在のアクションを付けています。ただ、この作品は“奴ら”の襲撃そのものというより、そういう状況の中で人々が感じる恐怖や絆、そしてどう生き抜くかを描く物語。だから「いかにもアクション」といった動きにはならないよう、人物の内面が表れた動きにしたいと思っています。取ってつけたようにアクションを盛り込むのではなく、人物の感情が沸点に届く限られた瞬間に、激しい動きが生まれるようにしたい。そう思うようになったのには、これまでにもご一緒してきた G2 さんからの影響も大きいですね。また G2 さんは演者の「腑に落ちる」ことを大切にされているので、自分もアクションを付けるときには、そこを意識するようにしています。



衣裳　十川ヒロコ

**G2 作品が描き出す人間愛を、
衣裳の素材でも表現したい**

台本を読み、舞台の美術プランを踏まえながら今回の衣裳を考えたのですが、やはり G2 さんの作品には、人間ドラマの奥にさまざまな問いかけが詰まっていると思いますし、そこに描かれている人間愛を素材で表現できたらいいなと思いました。ですので、普段は派手な衣裳が得意なんですが（笑）、素材的には麻などの身近なナチュラル素材を洗い込み、使い込んだ感じを表現するところからスタートしています。また、アースカラーを中心にしながらも、それぞれの人物の個性が見えるスタイリングを G2 さんに提案したところ OK をいただいたので、今はその方向で製作を進めているところです。製作に際してこだわっているのは、やはり色出しでしょうか。派手ではなくてもそれぞれの人物の色を出したいので、素材を染める際には花などの自然色で染めています。汚しに関しても石や土など、自然のものを使ってどこまでできるかにも挑戦したいですね。あとは生身でのアクションを考慮して、演者が動きやすい素材や構造を工夫しています。

KEYWORDS

『ミュージカル バイオハザード ～ヴォイス・オブ・ガイア～』
劇中用語辞典

アヴィアーノ
【Aviano】
イタリアの北方にある都市。ここに作られた飛行場から、イタリアの飛行機の歴史が発展した。第二次世界大戦が終わると駐留アメリカ空軍の基地として使われるようになり、現在はアメリカ空軍の司令部が置かれている。

アドリア海
【Adriatic Sea】
イタリア半島とバルカン半島に挟まれた、地中海にある湾状の海域。沿岸や島々は風光明媚で、ヴェネチアを始め中世の東方貿易で栄えた都市が多い。

アメリカ陸軍感染症医学研究所
【USAMRIID】
1969年に作られたアメリカ陸軍の研究施設。生物兵器を使った攻撃やテロを防ぐ研究をしている。その研究に使うため、危険性の高い細菌やウィルスを保管する設備を持つ。

ウィルス
【Virus】
感染すると病気を起こす、タンパク質の殻に遺伝子が入った構造体。細菌と違って自分の細胞は持っていない。生物に感染するとその細胞に入り込み、自分の遺伝子を使って増殖。入り込んでいた細胞が死ぬと、周りの健康な細胞に入り込んで同じことを繰り返す。こうして感染した生物を死に至らしめることがある反面、外部から遺伝子を持ち込む働きが、生物の進化に影響を与えたという説もある。現在ではその働きを利用して、治療用の遺伝子を組み込んだウィルスを細胞の中に入れる、遺伝子治療の方法が研究されている。

ウォーキング・デッド
【The Walking Dead】
「歩く死体」という、ゾンビを意味する言葉。この言葉をタイトルにした、ゾンビが徘徊する世界を描いたアメリカのコミックスが『ウォーキング・デッド』。コミックスを原作にした同名のテレビシリーズも高い人気を誇り、現在、シーズン6までが製作されている。

エボラ出血熱
【Ebola Hemorrhagic Fever】
エボラウィルスに感染すると起こる病気。1976年にスーダンで初めて発生。感染すると、発熱や頭・のど・胸部・腹部の痛み、吐血や下血、意識障害などの症状が起こる。確実な治療法やワクチンがないので、死亡率が非常に高い。今のところ回復した患者の血液や、それから作った血清を注射するのが唯一の治療法とされる。2014年、ギニアなどの西アフリカで大流行が発生し、1万人以上が死亡した。

北大西洋条約機構
【NATO】
1949年に締結されたアメリカとカナダ、ヨーロッパの資本主義国の軍事同盟。ソビエトを始めとする共産主義国に対抗するための同盟だったが、ソビエト崩壊により東西冷戦が終わると、周辺地域で起きた紛争やテロへの対応など、その役割を変えつつある。

狂犬病
【Rabies】
狂犬病ウィルスに感染すると起こる病気。感染している動物に噛まれると、ウィルスが噛み傷から神経を通って脳に侵入。脳炎を起こした患者は興奮、錯乱し、最後は昏睡状態から呼吸が止まって死に至る。また、液体を飲み下す際に喉がけいれんして激しい痛みが起こり、水分を摂ることを怖がるようになるため、「恐水病」という別名がある。発症から3～5日程度で死亡。

スタンフォード大学
【Leland Stanford Junior University】
1891年創立の、アメリカ・カリフォルニア州にある私立大学。アメリカ大陸横断鉄道の経営者、リーランド・スタンフォードが、早くに亡くした息子を偲び、若者たちの新たな学びの場として創立した。世界的な難関校として有名で、工学や生物学、自然科学、心理学などのジャンルで世界最高峰の研究が行われている。また、同校の近くに位置するIT産業の一大拠点、シリコンバレーにも多くの人材を送り出している。

ドゥブロブニク
【Dubrovnik】
アドリア海沿岸にあるクロアチアの都市。世界遺産になっている旧市街は、街並みの美しさから「アドリア海の真珠」と呼ばれ、観光地としても人気が高い。旧市街を囲む城壁は厚さ5メートル、高さ20メートル、全長は約1900メートルに及び、主要部分は12世紀から17世紀にかけて造られた。

バイオハザード
【Biohazard】
細菌やウィルスといった有害生物の危険性や、それらが原因で起きた災害を意味する言葉。近年では、施設内での有害生物への感染、施設から外に有害生物が漏れ出す事故、さらに有害生物を使ったテロなどで使われることが多い。

パンデミック
【Pandemic】
伝染病などが、世界的に流行している状態のこと。限定された地域内だけの小流行の場合はエンデミック、そこから範囲が拡大し、数ヵ国にわたって患者が発生する流行になるとエピデミック、さらに流行規模が拡大して世界的な流行になると、パンデミックに分類される。

ブッカーズ
【Booker's】
アメリカのバーボンウイスキーの銘柄。最高峰のバーボンの一つとして有名。

水沢
【Mizusawa】
岩手県奥州市にある区。江戸時代に水沢城の城下町として発展し、現在は南部鉄器の生産地として知られている。JR水沢駅は毎年6月から8月の間、南部鉄器でできた風鈴を駅舎に多数吊ることから「風鈴駅」の名で親しまれ、観光名所にもなっている。同駅は1996年には環境庁（当時）による日本の音風景100選にも選ばれた。

明珍火箸風鈴・明潤琴
【MyochinHibashiFurin・Myojyunkin】
兵庫県姫路市で作られている風鈴と楽器。平安時代から甲冑師の家系として続く明珍一族は明治に入り、伝統で培った鍛冶技術を生かして明珍火箸を作っていたが、時代の変化とともに火箸の需要が少なくなったため、新たな火箸の使い方を模索。明珍火箸を組み合わせて吊るして音を出す明珍火箸風鈴と、さまざまな太さや長さの明珍火箸を一列に吊るし、それを叩いて演奏する明潤琴を生み出した。その幽玄な音色には、国内外のミュージシャンにもファンが多い。

リノザ島
【Isola di Linosa】
イタリア南部にあるシシリー島やマルタ島と、アフリカ大陸に挟まれたシチリア海峡に浮かぶ島。この島が属するペラージェ諸島は近年、観光地として注目を集める反面、アフリカからも近いため、保護を求めるアフリカ難民の目的地にもなっている。

ロドケトゥス
【Rodhocetus】
かつて生息していた水棲動物。体長は3メートル程度で四本の足があるが、陸上歩行に適した形ではなく、水中で動きやすいように後ろ足に水かきがある。恐竜がいなくなってから、海中に棲むようになったカバの祖先が水中に適応して進化し、ここからさらに今のクジラへと進化したと考えられている。

ワイオミング
【USS Wyoming, SSBN-742】
アメリカ海軍の戦略ミサイル原子力潜水艦。アメリカに対する核攻撃、あるいはその危険がある場合に、相手国に海中から核ミサイルを発射することを任務にしている。

ワクチン・血清
【Vaccine・Serum】
ワクチンとは、細菌やウィルスに感染して起こる病気を予防するための医薬品。病原体から毒性をなくしたり弱めたりした、体に免疫を起こす物質（抗原）を作り、それを注射することで、体の中に病原体に対抗する成分（抗体）を作って、感染を防止する。そのため、発病してから注射しても効果はない。血清は、血液の成分が固まったときにできる上澄みの液体のこと。すでに抗体を持っている血液から作るので、予防だけではなく、病気を発症した患者の治療にも使うことができる。ただし、血清には抗体以外の物質も含まれていて、副作用を起こすことがあるので、現在では血清から抽出した純度の高い抗体を使うのが一般的。

C130 ハーキュリーズ
【C-130 Hercules】
アメリカのロッキード・マーチン社が生産している輸送機。短い距離で離着陸できる使い勝手のよさと、滑走路が整備されていない場所でも離着陸できるタフさが評価されて、1955年の初飛行以来、軍用輸送機のベストセラーに。現在も改良型が生産されている。

F22 ラプター
【F22 Raptor】
アメリカのロッキード・マーチン社とボーイング社が共同開発した、最新鋭のステルス戦闘機。レーダーに非常に映りにくいため、相手が気づかない内に先に攻撃を仕掛けられる強みを持つ。2005年よりアメリカ空軍の主力戦闘機として使用されている。




S.T.A.R.S.
RACCOON
www.residentevillive.ru



CREATIVE STAFF

美術　堀尾幸男
Yukio Horio

武蔵野美術大学在学中、旧西ドイツ国立西ベルリン芸術大学舞台美術科に留学。1983年、オペラ『プッチーニ3部作』、『ルチア』、『マリア・ストラーダ』の美術を担当。以来オペラ、ミュージカル、現代演劇、歌舞伎、コンサートなど、さまざまな舞台美術プランを手がける。08年の朝日舞台芸術賞受賞を始め受賞多数。近年手がけた舞台作品に『紫式部ダイアリー』（三谷幸喜作・演出）、NODA・MAP『逆鱗』（野田秀樹作・演出）、『Vamp! Bamboo! Burn!』（いのうえひでのり演出）などがある。

振付　前田清実
Kiyomi Maeda

幼少の頃よりモダンダンスを始め、大学在学中よりジャズダンスを名倉加代子氏に師事。現在は「ドラスティックダンス0」を主宰。振付家としても数多くのミュージカルやストレートプレイ、宝塚歌劇団の作品を手がける。第8回読売演劇大賞優秀スタッフ賞受賞。近年手がけた舞台作品に『モーツァルト!』、『エリザベート』（以上、小池修一郎演出）、『青い種子は太陽の中にある』（蜷川幸雄演出）、『Golden Songs』（前田清実演出）、『マイ・フェア・レディ』（G2演出）などがある。

アクション　諸鍛冶裕太
Yuta Morokaji

JAE所属。舞台、映画、TVのアクションコーディネーターとして、数多くの作品に携わっている。近年手がけた作品に【舞台】『ロミオ&ジュリエット』（ジョナサン・マンビィ演出）、『マクベス』（長塚圭史演出）、『獅子王 SHI-SHI-O』（尾上菊之丞振付）、『真田十勇士』（堤幸彦演出）【映画】『劇場版 MOZU』、『真田十勇士』、『天空の蜂』、『暗殺教室～卒業編～』【TV】『MOZU』シリーズ（TBS・WOWOW）、『鼠、江戸を疾る2』（NHK）などがある。

照明　倉本泰史
Yasushi Kuramoto

早稲田大学卒業後、1991年、株式会社エアーパワーサプライ（APS）を設立。演劇・ミュージカル等の舞台照明デザインを中心に、商業施設や環境施設の演出照明計画、設計にも携わっている。近年手がけた舞台作品に『スタンド・バイ・ユー～家庭内再婚～』（堤幸彦演出）、『TABU タブー』（深作健太演出）、『ア・フュー・グッドメン』（鈴木勝秀演出）、『ブロッケンの妖怪』（倉持裕作・演出）、『音楽劇 星の王子さま』（青木豪演出）、『日本一の大悪党』（小泉今日子演出）などがある。

音響　井上正弘
Masahiro Inoue

1981年、高橋巌のもとオフィス新音設立に参加。以後、G2を始め、蜷川幸雄、鈴木裕美、鈴木勝秀、三谷幸喜、白井晃などの演出作品を多数手がける。近年手がけた舞台作品に『母と惑星について、および自転する女たちの記録』（栗山民也演出）、『真田十勇士』（堤幸彦演出）、『マハゴニー市の興亡』（白井晃演出）、『嵐が丘』、3軒茶屋婦人会『ス・ワ・ン』、『ダブリンの鐘つきカビ人間』、『メルシー!おもてなし』、『ガラスの仮面』（以上、G2演出）などがある。

衣裳　十川ヒロコ
Hiroko Sogawa

フリースタイリストとして独立後、有限会社ディスを設立。広告を中心にコンサートや舞台の衣裳デザイン、雑誌、映画と幅広いジャンルで活動中。2006年にはアメリカ制作の舞台『blast!』に衣裳デザイナーとして参加。近年手がけた舞台作品に『愛の唄を歌おう』（宮本亜門演出）、『ツインズ』（長塚圭史作・演出）、『オセロ』（白井晃演出）、『大逆走』（赤堀雅秋作・演出）、『GEM CLUB』（玉野和紀演出）、『灰色のカナリア』、『マイ・フェア・レディ』（以上、G2演出）などがある。

ヘアメイク　宮内宏明
Hiroaki Miyauchi

M's factory主宰。舞台作品を中心にTV、CM、スチール撮影、コンサートなどのヘアメイク、ウィッグデザイン、特殊メイクと幅広く活動。近年手がけた舞台作品に『才原警部の終わらない明日』（福田雄一演出）、『スーパー歌舞伎Ⅱワンピース』（横内謙介演出）、ライブスペクタクル『NARUTO ―ナルト―』（児玉明子演出）、劇団☆新感線『乱鶯』『Vamp! Bamboo! Burn!』（以上、いのうえひでのり演出）、『嵐が丘』、『マイ・フェア・レディ』（以上、G2演出）などがある。

映像　中安 翌
Akira Nakayasu

金沢美術工芸大学准教授。北九州市の劇団「飛ぶ劇場」のスタッフとして在籍していた縁から劇空間における映像演出を手がけ、映像以外にもロボット技術を利用したインタラクティブアート作品を制作。作品『Luminescent Tentacles』が経済産業省 Innovative Technologies 2016に選出。近年手がけた舞台作品に『おのれナポレオン』（三谷幸喜演出）、『Théâtre de Yûhi Vol.1 La Vie - 彼女が描く、絵の世界』（児玉明子演出）などがある。

舞台監督　榎 太郎
Taro Enoki

「オンシアター自由劇場」を経て、1997年よりフリーとして活動開始。04年にN.E.T ONを設立。近年手がけた舞台作品に『アダムス・ファミリー』（白井晃演出）、『正しい教室』（蓬莱竜太演出）、ウーマンリブ『七年ぶりの恋人』（宮藤官九郎演出）、『わがまま』（渡辺えり演出）、『Honganji』（ウォーリー木下演出）、『TAKEFIVE 2』（渡瀬暁彦演出）、『フォレスト・ガンプ』、『嵐が丘』、『ガラスの仮面』（以上、G2演出）などがある。

舞台監督　山矢 源
Gen Yamaya

1997年、ジ・アクト・コネクションに入社。現在はダイ・レクト所属。00年以降のすべての「THE CONVOY SHOW」の舞台公演、ディナーショウに携わっている。近年手がけた舞台作品に『イット・ランズ・イン・ザ・ファミリー』（山田和也演出）、TSミュージカルファンデーション『familia』（謝珠栄演出）、『気づかいルーシー』（ノゾエ征爾演出）、『ドラマティック古事記～神々の戦いの物語～』、『GOKÛ』（以上、児玉明子演出）などがある。

ミュージカル バイオハザード BIOHAZARD ―ヴォイス・オブ・ガイア―

STAFF

作・演出	G2
作曲・音楽監督	和田俊輔
美術	堀尾幸男
振付	前田清実
振付（ソロパート）	YOSHIE
アクションコーディネーター	諸鍛冶裕太
照明	倉本泰史
音響	井上正弘
衣裳	十川ヒロコ
ヘアメイク	宮内宏明
映像	中安 翌
演出助手	高野 玲
舞台監督	榎 太郎
	山矢 源
歌唱指導	山川高風
稽古ピアノ	國井雅美
音楽監督助手	大塚 茜
衣裳（YOSHIE、中井智彦、Raychell、水希友香、アンサンブル）	及川千春
編曲・音楽スーパーバイザー	梶 純
美術助手	齊藤佑子　池田ともゆき
衣裳助手	大西理子　牧角綾乃
ヘアメイク助手	柴崎尚子
映像助手	園田裕美
演出部	板垣周作　羽賀順司　小澤久明　神津春野　加藤 剛
	藤原恒吉　新井宏人　藤間浩也　酒井聡澄　山口隆司　神保愛子
照明操作	吉枝康幸　稲崎愛歩　菅沼 玲　佐野淳子　田村真依子
	小原ももこ　根本 諭
音響操作	渡邉卓也　大場 亘　河内寛之　山口紫恩
衣裳	櫻井典子　田淵英奈
ヘアメイク	野口範子　宮崎智子
映像操作	芹澤莉佳　田中祥悟
大道具製作	つむら工芸／生駒研介
小道具	藤浪小道具
特殊機構	村上舞台
照明	APS
電飾	奥田イルミカ
	イルミカ東京／小田桐秀一
音響	オフィス新音
衣裳製作	梅津佳織　上野沙織
履物	神田屋
オーケストラコーディネート	ダットミュージック／松倉信弥　糠信 巌
楽器	三響社／岸拓央　安東良二
映像	マグナックス／栗山聡之
輸送	マイド
稽古場	新宿村スタジオ　すみだパークスタジオ
音楽制作協力	おかざきめぐみ　的場英也　鈴木歌穂　アイ・ミュージック
楽器製作者	明知火箸本舗　明珍宗理　明珍敬三
特別楽器協力	姫路市書写の里・美術工芸館
協力	河野有紀子
宣伝	キョードーメディアス／雲林院康行　佐藤知子　川島弓奈
宣伝デザイン	永瀬祐一
制作	吉本麻子　荒川ちはる
＜梅田芸術劇場＞	
エグゼクティブ・プロデューサー	大塚順一　髙山克敏
ゼネラル・プロデューサー	木村有裕　村田裕子　早川嘉昭
プロデューサー	岡田賀津子　宮阪亜美　桐井 環
営業	野澤啓介　森本繭子
広報宣伝	板倉桂子　杉本朋子　大塚愛恵
票券	堀端昭広　瀬戸口あゆみ　武部香奈　竪石 楓
原作	CAPCOM（ゲーム「BIOHAZARD」）
監修	小林裕幸（CAPCOM）
企画・制作・主催	梅田芸術劇場



ご挨拶

本日は、ミュージカル『バイオハザード～ヴォイス・オブ・ガイア～』にご来場頂きまして、誠にありがとうございます。

本作は、日本が世界に誇るサバイバルホラー・ゲーム『バイオハザード』が原作です。ゲームの壮大なスケール感はそのままに、歌、ダンス、アクション、芝居で魅せる世界初のオリジナルミュージカルを、皆様にお届けできることを主催者一同大変光栄に思います。

音楽で表現する“愛”と“希望”をテーマに物語を作り上げるのは、ミュージカルや芝居、と多岐にわたり活動している演出家のG2氏、そしてストーリーのカギとなる音楽を手がける和田俊輔氏。2人がタッグを組み、原作のモチーフを散りばめながら、全く新しい『ミュージカル バイオハザード』が誕生しました。

そんな『バイオハザード』の世界に挑むのは、宝塚歌劇団退団後、初主演ミュージカルとなる元星組トップスターの柚希礼音さんを筆頭に、すばらしい俳優陣とクリエイティブスタッフが集結し、G2氏が放つアイデアと演出プランに応え、ゲームファンも、映画ファンも、ミュージカルファンも、一緒に楽しめるステージを創り上げております。

原作の世界観を楽しんでもらいながら、オリジナルミュージカルとしても是非注目していただければ幸いです。

最後に、本公演の上演にあたり、多大なるご支援、ご協力を賜りましたCAPCOM様、そして関係者皆様に心より御礼申し上げます。

2016年9月吉日

主催者



うどんを
おいしくする景色

うどんのうまさを決めるのは
麺のコシだけでしょうか
だしの味わいだけでしょうか
もうもうと湯気が立ちのぼり
ぐらぐらと踊る大きな釜
うちたて新鮮な麺が
つぎつぎとゆであがってゆく
そんなうどんをつくる景色も
うどんをおいし〜くしています
見て味わう
食べて味わう
おいし〜いうどんは二度おいしい

うちたてには
福がある

讃岐 釜揚げうどん
丸亀製麺





MUSICAL
BIOHAZARD
VOICE OF GAIA

PROGRAM STAFF

アートディレクション・デザイン　永瀬祐一
編集　小杉 厚
宣伝写真　設楽光徳　渡部俊介　鈴木久美子
スタイリスト　岡本健太郎
ヘアメイク　黒田啓蔵　冨沢ノボル　宮内宏明
印刷　ツーネット



